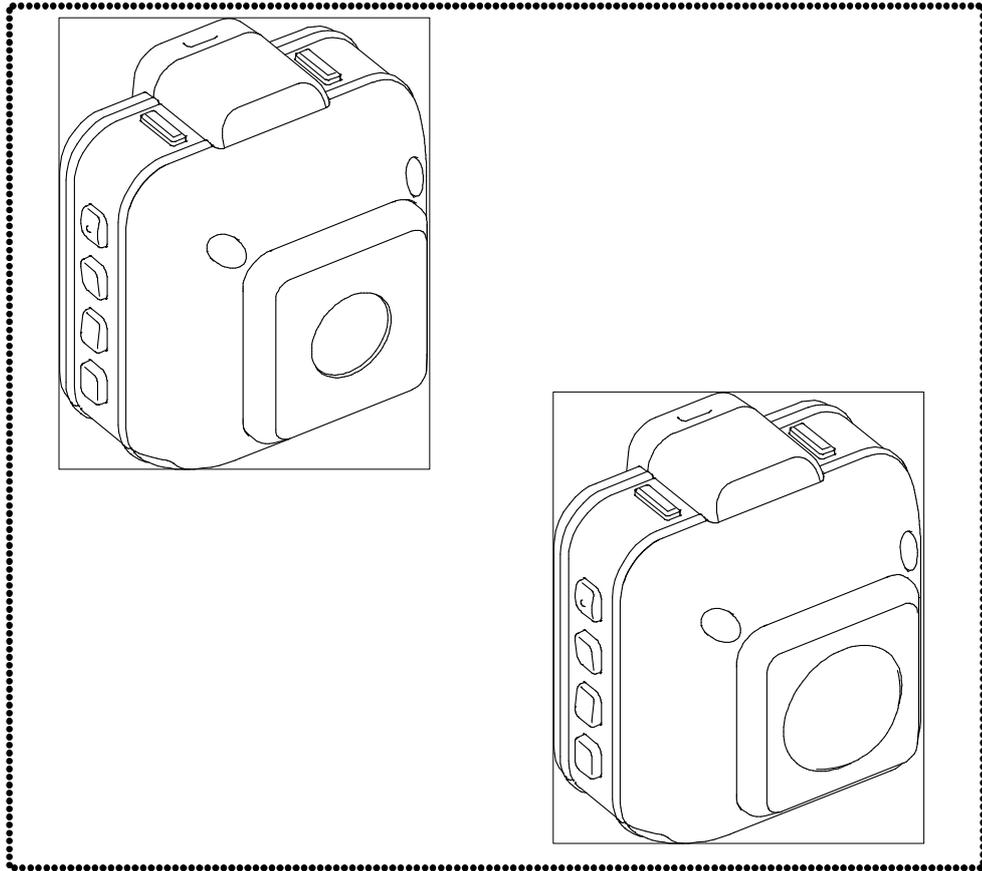


QBiC X1 / D1

ユーザーズ・マニュアル



- ご使用前に必ず本書をお読みください。
- 本書は本機を正しく使用するために必要な設定・使い方について説明しています。

目次

はじめに	4
箱の中身を確認する	5
安全にご使用いただくために	6
使用上のご注意	11
QBiC の特長	17
各部の名称	18
ストラップを取り付ける	19
水中でご使用になる際の注意点	19
アクセサリ(別売り)のご使用方法について	20
本機を準備する	21
バッテリーを充電する	21
microSD カードと WiFi カードをセットする	23
電源をオンする／電源をオフする	24
撮影する	26
動画を撮影する	26
静止画を撮影する	27
本機で設定を確認・変更する	28
LED ライト オン／オフを切り替える	28
画質モードを変更する	29
WiFi モードを変更する	30
通信モードの切り替える	30
本機の日付・時刻設定について	31
工場出荷時状態に戻す	31
QBiC 設定ツールを使う	32
ネットワークの設定をする	34
映像配信の設定をする	36
基本設定をする	38
ヘルプを使う	40
QBiC Air を使う	42
QBiC Air を接続する	43
QBiC Air で本機を遠隔から操作する	46
各種設定をする	47
動画を撮影する	47
静止画を撮影する	48
インターバル撮影を行う	48

カメラ詳細情報を確認する	50
LED ライトのオン／オフを切り替える	51
画質モードを設定する	52
パスワードを設定する	53
GPS を設定する	56
microSD カードをフォーマットする	57
データを取り込む	61
GPS 機能を使う	63
GPS アシスト(時刻設定)を使う	64
エラーについて	66
本機をリセットする	66
QBiC Air エラー	67
本機、QBiC Air、QBiC 設定ツールのアップデートについて	70
付録	71
本機のお手入れ方法について	71
故障かな?と思ったら	72
LED／ビープ音動作一覧	75
スイッチ動作一覧	76
主な仕様	77
本機／QBiC Air 機能一覧	79
アフターサービスについて	80

はじめに

このたびは QBiC をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この『QBiC ユーザーズ・マニュアル』をよくお読みください。

おことわり

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
2. 予告なしに本書の内容を変更することがありますのでご了承ください。
3. 本製品および本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、
万が一誤りや記載漏れなど、ご不明な点がありましたらご連絡ください。
4. 本製品を使用したことによるお客様の損害そのほかの不利益に関しまして、
いかなる要求につきましても弊社はその責任を負いかねます。
あらかじめご了承ください。

本書に記載されている商品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

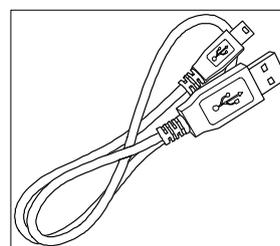
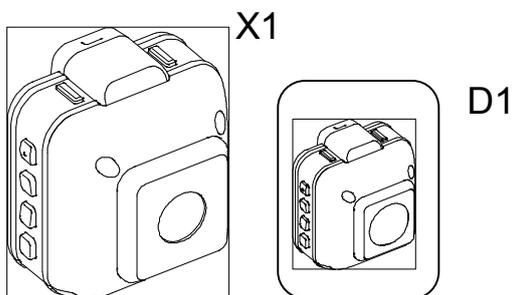
箱の中身を確認する

お使いになる前に次のものが入っていることをご確認ください。

万が一不足しているものがありましたら、お手数ですが弊社またはお求めになられました販売店までご連絡ください。

本機 (QBiC X1/D1)

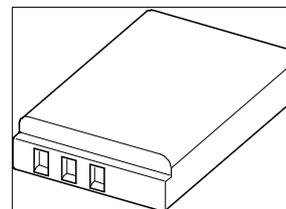
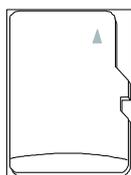
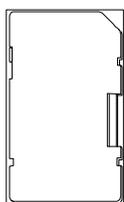
USB ケーブル



WiFi カード

microSD カード (2GB)

バッテリーパック



スタートアップガイド & 安全上のご注意

保証書

出荷に際し、品質や梱包などには万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、そのほかお気づきの点がありましたら、直ちに弊社までご連絡くださいますようお願いいたします。

安全にご使用いただくために

-安全にご使用いただくために必ずお守りください-

本機を安全に正しくご使用いただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。ご使用前に必ずお読みください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

-図記号の意味-

	名称: 危険／警告／注意 意味: 危険な行為や、警告・注意が必要な行為を示します。
	名称: 禁止 意味: 禁止(してはいけないこと)を示します。
	名称: 強制 意味: 強制(必ず実行、お守りいただくこと)を示します。
	名称: 接触禁止 意味: 接触禁止(してはいけないこと)を示します。 感電などの人体への傷害が起こる恐れがあります。
	名称: 分解禁止 意味: 分解禁止(してはいけないこと)を示します。 感電などの人体への傷害が起こる恐れがあります。

 危険	
	<p>自動車、オートバイ、自転車など乗りものの運転をしながら本機の操作をしたり、スマートフォンやタブレットの表示画面を見たりすることは絶対におやめください。本機およびスマートフォンやタブレットの操作は、必ず乗りものが停止した状態で行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 衝突、転倒などの発生、けがまたは死亡、事故の原因となります。事故を防ぐため、法令に従い、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。
	<p>ストラップでぶら下げるなど本機を不安定な状態で、自動車、オートバイ、自転車など乗りものの運転をしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機が飛ばされると、近くの人やものに当たり、けがまたは死亡、ものの損傷の原因となります。 ● 何かに引っかかり、運転ミスによる衝突、転倒などの事故の発生、けがまたは死亡の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車、オートバイ、自転車などの外部に指定されたもの以外を取り付けることは法律で禁止されている場合があります。また法令に従い取り付ける場合であっても、頑丈に取り付けを行い、走行中に外れないように適切な処置をしてください。
	<p>本機で使用するバッテリーは充電式リチウムイオン二次電池です。温度や湿度の影響を受けやすいのでご注意ください。</p> <p>バッテリーは本機の専用品ですので、ほかの機器には使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 強い衝撃が加わり、変形したバッテリーは危険ですので絶対に使用しないでください。発煙、発火、感電、やけどの原因になります。 ● バッテリーの充電は専用の器具を使い、必ず指定された方法で行ってください。 ● 不要になったバッテリーは一般ゴミとして廃棄せずにご使用の地域で定められた方法でリサイクルまたは廃棄してください。
	<p>本機を体に装着して使用する場合は事故を防ぐため、周囲の交通や状況に十分に注意してご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 衝突、転倒などで本機が体に衝撃を与え、けがをする原因となります。
	<p>液漏れしたバッテリーは使わないでください。</p> <p>また、液が目に入った場合はきれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。</p> <p>バッテリーは次のような誤った使い方をしないでください。</p> <p>液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがまたは死亡、火災の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 金属物と一緒に携帯、保管する。 ● 分解、加工、加熱および水中、火中に入れる。 ● 高温になる場所に置く。 ● 落としたり、強い衝撃を与えたりする。 ● プラス(+)とマイナス(-)のまちがひ。
	<p>本機を暖房機器等の熱を発するものに近づけないでください。また火の中に投げ入れたり加熱したりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーが発火、破裂し、けがまたは死亡、火災の原因となります。 ● 火災や爆発の原因となります。
	<p>可燃性、爆発性、引火性のガスなどがある場所で使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 火災や爆発の原因となります。

 警告	
	<p>本機のネジを外したり、ケースをこじ開けたりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内部には電圧の高い部分があり、発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。 ● 内部の点検・修理は、ご購入先または弊社カスタマーサービスまでご依頼ください。
	<p>本機や付属品などを乳幼児の手の届くところに置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルは誤って首に巻きつけて、窒息に至る恐れがあります。 ● WiFiカードおよびmicroSDカードは誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。万が一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。 ● 本機を足に落としたり、踏みつけたり、下敷きにしたりしてけがをする恐れがあります。
	<p>煙が出ていたり、変なにおいや音などがする場合は、すぐに本機の電源スイッチをオフにするか、注意してバッテリーを取り外し、すべてのケーブルを抜き、周囲に可燃物がない状態にして、少し離れた場所で、煙などが出なくなるまでお待ちください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 異常状態のまま使用すると、発煙、発火、感電、やけどの原因となります。 ● 煙などが出なくなるのを確認してから、ご購入先または弊社カスタマーサービスまで修理をご依頼ください。お客様による修理は危険です。絶対におやめください。
	<p>本機を落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を加えないでください。本機の上に重いものを乗せたりして、圧力をかけないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。
	<p>内部に水や異物を入れたり、端子部(USBおよびカードスロット)に直接、配線やピンなどをはんだ付けしたり、異物を差し込んだりしないでください。端子部に規格外のプラグやコネクタなどを差し込んだりしないでください。各端子の接続は根本まで確実に差し込んでご使用ください。また、濡れた手で触らないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。
	<p>本機は防水ではありませんが、すべての状態で防水性を保証するものではありません。雨天、降雪、海岸、水辺および水中でのご使用は十分にご注意ください。</p> <p>ご使用中に本機に異常が発生した場合はただちに電源スイッチをオフにするか、注意してバッテリーを取り外してください。その後、ご購入先または弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 火災・感電の原因となります。
	<p>万が一、本機の内部に水や異物などが入った場合は、電源をオフにするか、注意してバッテリーを取り外し、すべてのケーブルを抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● その後、ご購入先または弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。そのまま使用すると発煙、発火、感電、故障の原因となります。
	<p>雷が鳴り出したら本機およびケーブルが接続されている機器には触れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 感電の原因となります。
	<p>自動車内の落ちやすい箇所に置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 急ブレーキなどで本機が落下してブレーキ操作の妨げにならないように十分ご注意ください。

	<p>撮影時は周囲の状況に注意を払ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。
	<p>ストラップを持って、本機を振り回したりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人やものに当たり、けが、故障、物損の原因となります。
	<p>WiFi カードは本機の専用品ですので、ほかの機器には使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えないでください。
	<p>USB ケーブルは本機の専用品ですので、ほかの機器には使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● USB ケーブルの上に重いものを乗せたり、コネクタ部を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。発煙、発火、感電、やけどの原因となることがあります。

注意

	<p>飛行機や病院内などで使う場合は、航空会社や病院などの管理・監督者の指示に従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機が出す電磁波などにより、機材、計器に影響を及ぼす原因になることがあります。
	<p>長時間使用しない場合や、お手入れの際は、装着品を取り外して、充電していない状態にしてください。(長時間使用しない場合でも、半年に1回は充電してください。長時間充電をしないと充電できなくなることがあります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、発煙、発火、火災の原因になることがあります。
	<p>車内など高温になる場所、湿気やほこりの多い場所で長期間の使用や保管をしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 火災・感電の原因となることがあります。 ● 本機が変形して故障する場合があります。
	<p>油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 火災・感電の原因となることがあります。 ● 防水性が低下することがあります。
	<p>ケーブルを抜く際は、ケーブルを引っ張らないでください。必ずコネクタ部分を持って抜いてください。</p> <p>また、持ち運びの際は必ずケーブルを外してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルが損傷すると、発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。
	<p>本機からケーブル、ストラップや三脚など装着具を取り外す際は、本機に手をそえて行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機がとび出して、落下すると故障やけがの原因になることがあります。

	<p>白色LEDライトを至近距離で直接見たり、光を人の目に近づけたりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 視力障害などの原因になることがあります。乳幼児を撮影する際は1m以上離れてください。 ● 乗りものなどの運転者にLEDライトを向けしないでください。事故を誘発する原因になります。
	<p>本機のレンズを直接太陽に向けしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 発煙、発火、やけど、故障の原因となることがあります。
	<p>本機を長時間素手で持たないでください。特に皮膚が過敏な方は、ご注意ください。本機との接触により、皮膚に炎症が発生した場合、すぐに医師にご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機は熱くなることがあります。長時間素手で持っている、低温やけどの原因になります。 ● まれに本機の樹脂や金属の材料、材質により、皮膚に炎症を起こす原因となることがあります。

使用上のご注意

■本機はアウトドアでの使用を想定しておりますが、スペックを超える過度な条件下での使用や、お客様の誤ったお取り扱いにより発生する本機の故障やその他の事象については、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。また、このような場合は保証期間内でも無償の修理サービスを受けることができません。

■事前に必ずためし撮りをしてください。

大切な撮影には事前にためし撮りをして、正常に映像や音声記録されていることをご確認ください。本機以外の不具合により撮影できなかった場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

■使用上の環境条件は次のとおりです。

温度：0℃～40℃

湿度：10%～80%

■GPSについて

●GPSは衛星から電波を受信し位置を測定するシステムです。できる限り上空の開いた場所でご使用ください。次のような場所では衛星からの電波を遮断または反射してしまい、位置が正しく検出できない恐れがあります。

-屋内、地下、森や林の中、高い建物や建造物の近く、トンネル内

-高圧電線の近く、磁石や金属、電気製品の近く

●GPS衛星からの電波が受信しにくい環境では、GPSの捕捉に時間がかかることがあります。

●GPS衛星の位置は変化します。撮影する場所や時刻、環境によっては正しく測位できなかったり、誤差が生じる場合があります。

●GPS機能はご使用になる国や地域の規則に従ってください。

■WiFi(無線LAN)の電波について

●本機は2.4GHz帯の電波法令による適合証明を受けております(適合証明を受けた部品を使用しております。)

ご購入の国以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。

●通信状況が悪い場合、設置場所を変更してください。遮蔽物が多い場所など、ご使用環境によっては、通信に悪影響を及ぼす場合があります。特に次の条件下では通信ができません。

-本機が水中にある場合

-送受信(本機とスマートフォンやタブレット)の間に鉄筋や金属およびコンクリートがある場合

●次の条件下では本機を使用しないでください。

-ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器の近く

-工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内(免許を要する無線局)の近く

-特定小電力無線局(免許を要しない無線局)の近く

●Bluetooth機器や電子レンジ等との電波障害について

Bluetooth機器や電子レンジ等と本機は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、お互いを近くで使用すると電波障害が発生し、通信速度の低下や接続に障害が発生する可能性が

あります。

接続に問題がある場合は、Bluetooth機器や電子レンジ等の同一周波数を使用する機器か、あるいは本機の電源をオフにしてください。

■防水について (重要)

- 本機は弊社の定める品質基準においてJIS IPX8相当の弊社基準に基づいた防水性能を備えています。弊社の定める取扱い方法に従い、水深7m/10分までの撮影が可能です。しかしながら、すべての条件において無破壊、無故障、防水性能を保証するものではありません。
- お客様の誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は保証対象外となります。
- 本機をぶついたり、落とすなどの衝撃を加えた場合、防水性能は保証いたしません。修理(有料)についてはご購入先または弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。
- 本機の内部およびカードやバッテリーは防水ではありません。濡れた手で取り扱わないでください。
- 本機の防水性能は海水および真水に対応しております。
- 本機内部は防水ではありません。浸水した場合は故障します。
- 防水性を保つため、本機を低温(0℃以下)および高温(40℃以上)になるところに長時間放置しないでください。
- 洗剤、石けん、温泉、入浴剤、日焼け止め、薬品などの飛沫がかかった場合は、速やかにふき取ってください。長時間放置すると防水性能が劣化します。
- 浸水および衝撃によるデータの破壊に対する責任は負いかねます。

■水中での使用について

- 水深7m、水温0℃～40℃の条件内でご使用ください。
- 水中で10分以上連続して使用しないでください。
- スキューバダイビング(アクアラング)では使用しないでください。
- 水深7mおよび水深7m相当の水圧以上の環境では使用しないでください。
- 本機を持ったまま水中に飛び込まないでください。また急流や滝など激しく水のかかる場所では使用しないでください。強い水圧がかかり、故障の原因になることがあります。
- 本機は水中に沈みます。紛失しないよう確実に装着してご使用ください。

■耐衝撃性について

本機は弊社試験基準(厚さ3cmの合板に1.5mの高さから落下試験)をクリアしています。しかしながら、落下により衝撃部分の塗装剥離、キズ、変形など外観変化は発生します。

- 本機をぶついたり、落下させたり衝撃を加えた場合、防水性の保証はいたしません。

■バッテリースロットカバー、WiFiカードスロットカバー、およびmicro USBカバーの装着および取り扱いについて (重要)

- カバーは確実に閉めてからご使用ください。不十分な状態で本機を水中や水のかかる場所で使用した場合、浸水の原因になります。
- 浸水を防ぐため、砂粒、ほこりの多いところや水辺、濡れた手でカバーの開閉は行わないでください。また、カバーを閉じる際に、砂粒や液体、糸くず、髪の毛などの異物を挟まないように注意してください。
- 液体が付着している場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。液体が付着した状態で使

用すると浸水の原因になります。また、防水パッキンの側面や四隅にも微小な異物が付着することがありますので気を付けて取り除いてください。

- 本機の防水パッキンの性能は1年以上経過すると劣化します。1年に1度はお買い上げの販売店か修理ご相談窓口にご相談していただき、交換(有料)することをお勧めします。

- 本機のフロント部には透明ドーム部がありますが、傷がつきやすいので、取り扱いにはご注意ください。透明ドーム部に傷がつきますと、位置や大きさによっては、クリアな映像が撮影できない場合があります。

交換(有料)については、ご購入先または弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

- 次のような場所には保管しないでください。

- 屋外、湿気やほこりの多い場所
- 直射日光のあたる場所(自動車内や窓辺)、高温となる場所
- 氷点下となる場所(寒冷地で暖房のない場所)
- 冷暖房器具の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
- 自動車や乗りもの内など振動の多い場所
- 磁石または磁場の近く
- 薬品などの有機溶剤を使用する場所

- 寒冷地での使用について

- 低温下で本機の金属部品に直接触れると皮膚に傷害が発生する恐れがありますので、低温下では手袋を装着してご使用ください。

- 結露について

- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだ場合などに、本機の内部や外部、特にレンズの内側表面に空気中の水蒸気が凝結して水滴が付いたり、表面にくもりが発生したりすることです。
- 結露した状態で使用すると故障の原因となります。もし本機が結露した場合、電源をオフにして、外側を柔らかい乾いた布でふいてから湿気やほこりが少なく温度が安定(10～30℃が望ましい)した場所に放置し、完全に結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側表面に付いた結露が残っていると、クリアな映像になりません。

- 内蔵マイクについて

- 本機の操作音を拾うことがありますが、故障ではありません。

- 撮影について

- 解像度、動画記録品質等の条件により、録画可能時間は異なります。
- 本機を撮影禁止場所で使用しないでください。退去を命じられたり、法律により罰則を受けたり、警察等による拘束、本機の没収を受ける原因となります。
- 本機を迷惑禁止条例等の法律に違反することに使用しないでください。法律により罰則を受けたり、警察等による拘束、本機の没収を受けたりする原因となります。

■ 通常使用時のお手入れについて

- シンナーやベンジン等の強溶剤を使用しないでください。故障の原因となります。
- 本機の清掃は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■ 水中で使用した後のお手入れについて

- 水中やほこりの多い場所で使用した後、また汚れがひどい場合は、端子部(USBおよびカードスロット)およびバッテリー部のカバーの装着を確認し、きれいな水で洗い、柔らかい、乾いた布で水滴をふき取り、風通しの良い日蔭で完全に乾かしてください。
水滴や異物をそのままにしておく防水性能の低下と破損の原因になることがあります。
- 水洗いをして砂粒やほこりを取り除くまでスロットやカバーの開閉はしないでください。
異物が混入するなど浸水の原因になることがあります。
- 石けんや中性洗剤、薬品で洗わないでください。防水性が低下します。

■ 画面上の輝点、黒点について

- 本機は、多くの画素により構成されたCMOSエリアイメージセンサを使用しており、なかには正常動作しない画素が存在する場合があります。出力画面上に輝点、黒点が見られることがありますが、CMOSエリアイメージセンサ特有の現象であり、故障ではありません。

■ 記録ファイルについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、動作中にWiFiカードおよびmicroSDカードを抜いたり、電源をオフにしたり、また、通信中に付属のUSBケーブルが外れた場合、microSDカード内のファイルが破壊されたり、消滅したりすることがあります。
- 記録したファイルの破壊、消滅による損害については、弊社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ WiFiカードおよびmicroSDカードについて

- 付属品以外のmicroSDカードはご使用になれる前に本機でフォーマットしてください。またフォーマットは本機以外では行わないでください。カードの種類やメーカーにより使用できない場合があります。
- microSDカードにアクセス中は、WiFiカードを抜いたりしないでください。誤動作、故障の原因になります。
- 使用後や保管、持ち運び時はケースや収納袋に入れてください。

■ バッテリーの性能、寿命について

- 本機に内蔵されているバッテリーは、リチウムイオン二次電池です。
- バッテリーには寿命があり、温度、使用回数、使用時間、時間の経過につれて、バッテリーの容量は少しずつ低下します。
- 常温(10~30℃)で使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命とされますので新しいバッテリーに交換が必要です。
ご購入先または弊社カスタマーサービスまでバッテリーの交換(有料)をご依頼ください。
- 低温時や高温時には充電できない場合があります。
10~30℃の場所にしばらくおいてから、充電してください。

低温環境から暖かい場所へ移動する際は、結露にご注意ください。

- 日時設定などは、バッテリーが切れるとリセットされます。

■本機を廃棄する際のお願い

- バッテリーのリサイクルにご協力をお願いします。

ご使用の地域により製品を廃棄する際は、本機に内蔵されているリチウムイオン電池(バッテリー)を外して、リサイクルすることが可能です。その際はご使用の地域で定められた法令に従いリサイクルしてください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JRBCホームページ<http://www.jbric.net/hp/contents/index.html>を参照してください。

■microSDカードを廃棄および譲渡する際のお願い

- 本機およびパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」ではmicroSDカード内のデータは完全に消去されません。

物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトを使用してのデータ消去をお勧めします。

microSDカード内データはお客様の責任において管理ください。

あらかじめご了承ください

- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。

最新版はQBiC ウェブサイトでご確認いただけます。

<http://www.elmogbic.com/>

- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。

著作権法上、弊社に無断で使用できません。

- 万が一、本機の使用および故障、修理、そのほかの理由により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本書での記載について以下のように記載しています。

- microSDおよびmicroSDHCメモリーカード → 「microSDカード」

- バッテリーパック → 「バッテリー」

- 無線LANアクセスポイント → 「AP」

- 著作権について

個人で楽しむ場合などのほかは、画像および動画フォーマットファイルを権利者に無断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのファイルを有償・無償にかかわらず権利者に無断で、ネット上で記載したり、第三者に配布したりすることも著作権法や国際条約で固く禁止されています。万が一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限

している場合がありますのでお気を付けください。

本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ご注意ください

- この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 本機システムを使用して撮影される人物やその他の映像で、個人を特定できるものは個人情報となります。
その映像の開示、公開等の取り扱いは、システムを運用する方の責務となりますので、ご注意ください。
- 書籍、写真などは個人で楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で録画できませんので、ご注意ください。
- 補修用性能部品について
補修用性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。
この部品の保有期間が修理可能の期間となります。

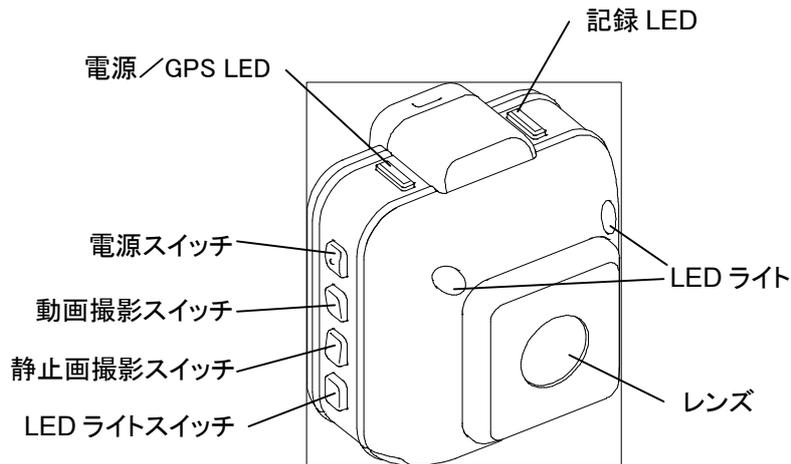
QBiCの特長

- **135° & 185° 歪みの少ない自然な映像。**
超広角にフィールドの状況をとらえることができます。
また、QBiC 専用レンズは超広角でありながら、歪みの少ない自然な映像を実現しています。
- **夜をとらえる高感度レンズ。**
業務用監視カメラ並みの高感度で、夜間のフィールドをとらえます。
最低被写体照度は 1.5 ルクス。
月明かりのフィールドでも対象物を鮮明にとらえます。
- **いざというときの LED 照明。**
ワンプッシュで点灯する LED 照明を搭載。
暗く狭い空間の撮影や夜間のフィールド撮影時の補助光としてお使いいただけます。
- **ワイヤレスで離れた場所からでもリアルタイムに動画・静止画を記録。**
QBiC Air(専用アプリ)をダウンロードすれば、iPhone、iPad、iPod touch、Android 端末で QBiC の映像をモニタリング、録画することが可能になります。
- **現在地・道のを GPS 機能で記録。**
静止画の場合は Exif タグに、動画の場合は録画時 5 秒ごとにログファイルに三次元情報(経度・緯度・高度)を記録します。
GPS に対応したインターネット地図ソフトを使えば、あなただけの思い出の道のが再現できます。
- **撮影目的に応じて多彩な録画設定が可能。**
画質と録画時間・・・Full HD/HD/VGA の 3 つの解像度で録画ができます。
最大 22 時間の長時間録画が可能です。
インターバル撮影・・・撮影周期と待ち時間を設定すれば、静止画を定期的に撮影します。
長時間の定点観察に適した撮影モードです。
- **あらゆるアクティブシーンに対応するアクセサリをご用意。(別売り)**
車にバイクに自転車に、あるいはヘルメットや腕に QBiC を取り付けて撮影できます。
多彩なアクセサリがあなたの Field Activity をサポートします。

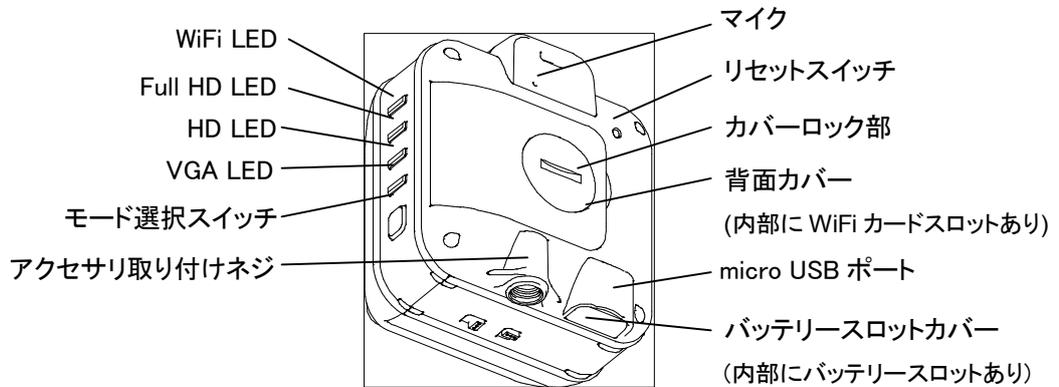
各部の名称

本機前面部

X1、D1とも位置は同じです。(図はX1です)

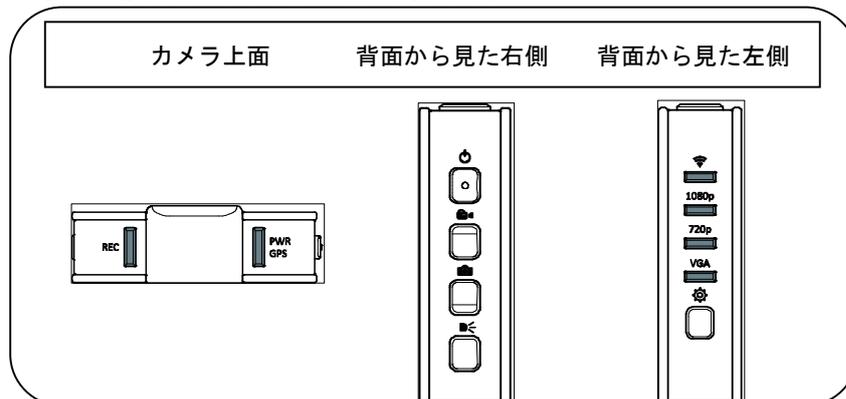


本機背面部



アクセサリ取り付けネジの取り付け可能な雄ネジ長さ: 5.5mm 以下

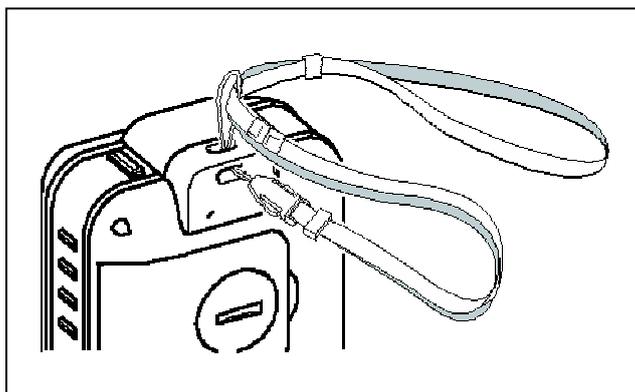
*5.5mmを越える長さのネジを取り付けると、本体ネジ部が破損します。



ストラップを取り付ける

ストラップはパッケージに同梱されていませんので、別途ご用意ください。
ストラップを本機に通したあと、ストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してからお使いください。

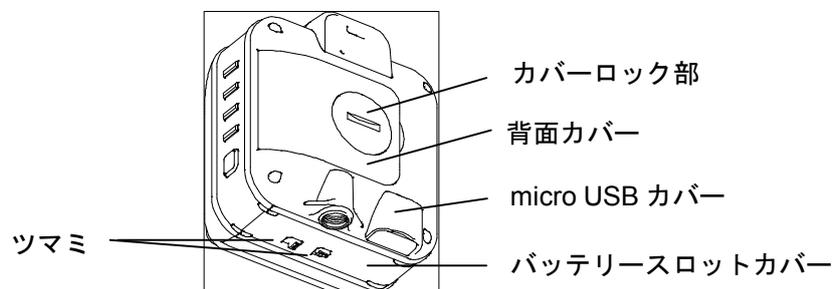
取り付けかた



水中でご使用になる際の注意点

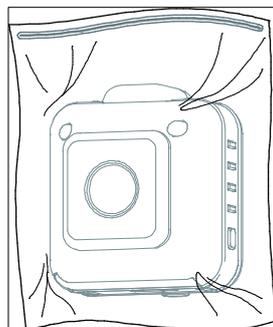
本機を水中で使用する場合、次の点を必ずお守りください。

1. 各部のカバー、ツマミがしっかりと閉まっているか確認してください。



- 水中での使用を確実にするために、市販のファスナー付きポリ袋、またはデジタルカメラ用防水ケースに入れてください。

使用する際、袋のファスナー、ケースの入口はしっかりと閉めてください。

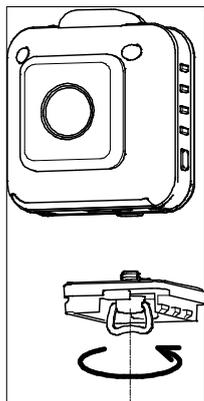


- * ファスナー付きポリ袋を使用する場合は、ボディマウントベルト(別売)を使用し、固定して使用することをお勧めします。
- * すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

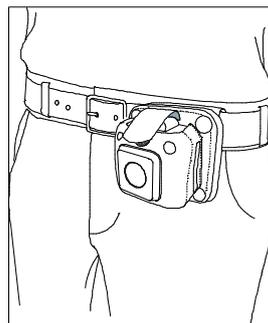
アクセサリ(別売り)のご使用方法について

標準マウントキット、フレームマウント、ボディマウントベルトなど、本機を固定する際に便利なさまざまなアクセサリをご用意しています。(別売り)

本機との固定方法などに関しましては、それぞれのアクセサリに同梱されております取扱説明書をご確認ください。



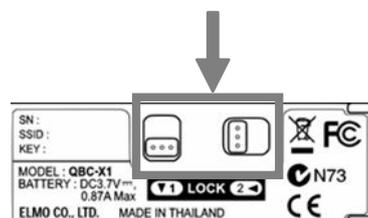
フレームマウント



ボディマウントベルト

本機を準備する

本章では、撮影を行う前に必要な準備について説明します。



バッテリーを充電する

工場出荷時にバッテリーは挿入されておりません。また、バッテリーは十分に充電されておりませんので、必ず充電してからお使いください。なお、充電するには USB ポートが搭載された PC、もしくは USB 充電器が必要です。

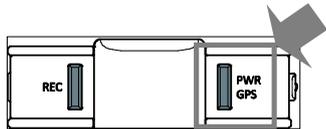
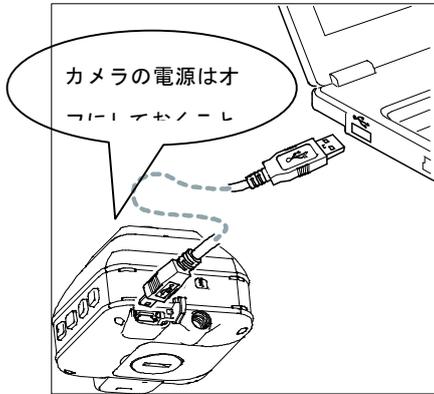


<手順>

1. バッテリーを挿入します。
本機底面に、製品型式などが記載されたラベルが添付されています。ラベルに記載された矢印の方向と反対に2つのツマミを動かし、スロットをスライドして開き、バッテリーを挿入します。
2. 1.の手順と逆の操作を行い、スロットを閉めツマミを矢印の方向に動かしロックします。
3. 本機の microUSB カバーを開け、付属の USB ケーブルの microUSB コネクタ(小さい方のコネクタ)を挿入します。
4. 本機の電源がオフになっていることを確認し、USB ケーブルの USB コネクタを、起動している PC の USB ポートに挿入し、充電を開始します。
USB 充電器を使用する場合は充電器をコ

ンセントに差し込みます。

充電中は「電源 LED」が点滅します。



- 「電源 LED」が消灯したら充電完了です。USBケーブルを本機から抜き、本機底面にあるmicroUSBカバーを取り付けます。この際、microUSBカバーは必ず奥まで挿入してください。不十分な場合、防水性が損なわれ、本機が故障する原因となります。

ACアダプタ(別売)について

ACアダプタを使用すると、PCと接続して充電した場合と比較して短い時間で充電を完了することができます。

詳しくは QBiC ウェブサイト (<http://www.elmoqbic.com/>) をご確認ください。

充電中に本機やUSBケーブルが熱くなることがありますが、故障ではありません。

充電に関する注意点

- カバーを開ける際は、最後までスライドさせてからカバーを開け、バッテリーを挿入してください。スライドが不十分なまま無理にカバーを開けた場合、本機が破損する原因となります。
- バッテリーは正しい向きに挿入してください。誤った向きに無理に挿入した場合、本機が故障する原因となります。
- バッテリーは奥まで挿入し、オレンジ色の内部ロックがかかっていることをご確認ください。
- バッテリー挿入後、バッテリースロットのカバーは、必ず奥まで押し込んで、正しくロックをかけてください。不十分な場合、防水性が損なわれ、本機が故障する原因となります。
- 1ヶ月以上使用しなかった場合、ご使用前に充電を行ってください。

バッテリー残量の目安について

バッテリーの残量が少なくなるといくつかの機能が動作しなくなります。

電源 LED で残量の目安を知ることができます。

電源 LED *	バッテリー残量
点灯 緑色／青色	十分にある
点滅 緑色／青色	25%以下

早点減 緑色／青色	1%以下
--------------	------

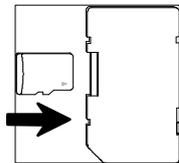
*GPS の捕捉状態により色が異なります
 (捕捉している場合:青色／していない場合:緑色)

microSD カードと WiFi カードをセットする



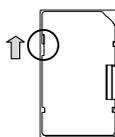
<手順>

1. 付属の microSD カードを WiFi カードに挿入します。挿入する際は向きにご注意ください。
 また、microSD カードはカチッと音がするまで差し込んでください。正しく挿入されていない場合、エラーになります。

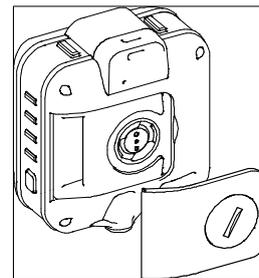
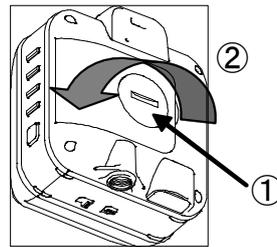


WiFi カードのロックについて

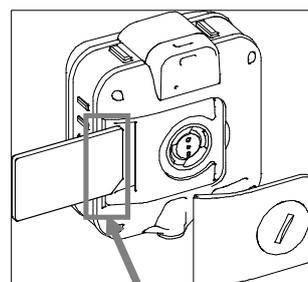
WiFi カードをロックすると記録することができません。
 スライドスイッチが「LOCK」ではない側にスライドされていることを確認してください。
 ロックされている場合はスライドさせて書き込み禁止を解除してください。



2. 先端部分が平面のもの(例:コイン)を使用して、本機背面にあるカバーのロックを解除します。
 ①の部分に硬貨などを差し込み、②矢印の方向に回して指標を「UNLOCK」の位置に合わせるとフタが外れます。

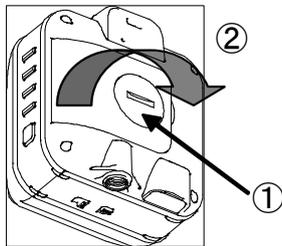


3. WiFi カードスロットに WiFi カードを挿入します。



WiFi カードスロット

- i. 挿入する際、向きにご注意ください。
また、WiFi カードはカチッと音がするまで挿入してください。
正しく挿入されていない場合、エラーが発生したり、本機が故障する原因になります。
 - ii. WiFi カードスロットには WiFi カード以外のものを挿入しないでください。
取り出しが不可能となり、本機が故障する原因となります。
4. 背面のカバーを戻して、ロックします。
カバーを付け、①の部分に硬貨などを差し込み、②矢印の方向に回して指標を「LOCK」の位置に合わせます。
カバーの周囲に浮き上がりが無く、正しく取り付けられていることを確認してください。不十分な場合、防水性が損なわれ、本機が故障する原因となります。



WiFi カードについて

WiFi カードは弊社のカスタマーサービスにて販売しております。
詳しくはカスタマーサービスまでお問い合わせください。
本機ご購入時に同梱されているもの、あるいは弊社よりご購入いただいた製品以外のカードはお使いいただけません。

microSD カードについて

microSD カードは消耗品です。定期的な交換をお勧めします。

市販されている microSD カードで弊社が動作確認したものについて、QBiC ウェブサイト(<http://www.elmoqbic.com/>)で情報を提供しております。

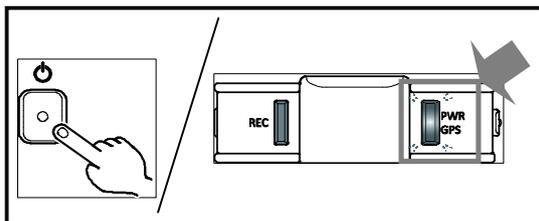
付属の microSD カード以外のものをお使いになる際は、上記ウェブサイトをご確認の上、動作確認済みカードを別途お求めください。

動作確認されていない製品のご使用に関しては動作の保証をいたしかねます。

電源をオンする／電源をオフする

電源をオンする

「 電源スイッチ」を 1 秒以上長押しすると電源がオンになり、電源 LED が緑色に点灯します。



電源LEDはGPS信号を取得すると青点灯に変わります。

(取得しない場合は緑色のままです)



バッテリー残量について

本機内部のバッテリーに十分な残量がない場合、電源スイッチを押しても本機の電源はオンになりません。

本機の電源をオンするためには、あらかじめバッテリーを充電してください。

電源オンの条件について

本機の電源をオンにするためには、バッテリー残量のほかに、以下の条件を満たしている必要があります。

- ① 付属品、あるいは弊社指定(正規品)のWiFiカードが本機に挿入されていること
- ② ①のWiFiカードの中に microSD カードが挿入されていること

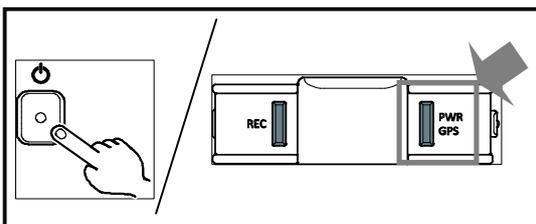
これらの条件を満たしていない場合、電源スイッチを長押しすると本機のすべてのLEDが3秒間点滅し、ビビビッとビープ音が鳴ります。

その後LEDが消灯し、本機の電源はオンになりません。

上記の状態になりましたら、WiFiカードと microSD カードを確認し、再度電源スイッチを押して電源をオンにしてください。

電源をオフする

「 電源スイッチ」を2秒以上長押しすると電源がオフされ、「電源LED」が消灯します。



撮影する

本機は「動画撮影」「静止画撮影」「インターバル撮影」の3つの撮影方法で撮影することができます。

撮影した動画や静止画は、本機内の microSD カードに保存されます。

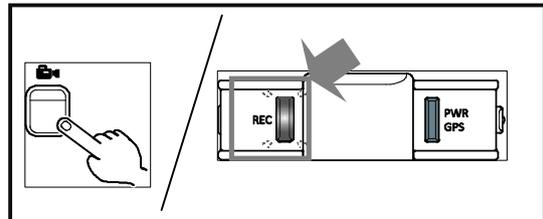
動画を撮影する

動画を1ファイル記録します。

「 動画撮影スイッチ」を短押しするとピッとピー音が鳴り、録画を開始します。

録画中は「記録LED」が赤色に点灯します。

録画中に再度「動画撮影スイッチ」を短押しするとピピッとビープ音が鳴り、撮影を終了し、「記録LED」が消灯します。



動画ファイルは mp4 形式で記録されます。
(拡張子:.mp4/映像:H.264/音声:L-PCM)

画質モード(動画サイズ)は以下の3種類です。

Full HD	1920 x 1080p
HD	1280 x 720p
VGA	640 x 480p

動画ファイルについて

1. ファイル容量および microSD カード容量制限について

1 ファイルあたりのサイズは最大 2GB(ギガバイト)です。

録画中に 2GB 付近に達した時点で、録画は一旦停止となり、新しいファイルを作成します。

新規ファイルを作成後、再び録画を開始します。microSD カード内の全容量が 2GB 以下の場合、新しいファイルは作成されず、録画を終了します。

microSD カードの空き容量が 10MB(メガバイト)未満の場合、録画することはできません。

この場合、本機のすべての LED が 1 秒間点滅し、ビビビッとビープ音が鳴ります。

不要なデータを削除するか、空き容量が十分にあり別の microSD カードに交換してから再度撮影を実行してください。

2. 録画中の画質モード変更について

録画中に画質モードを変更することはできません。

画質モードは録画していない際に変更してください。

3. 録画フレームレートについて

録画フレームレートは 30 コマ(30fps)固定です。

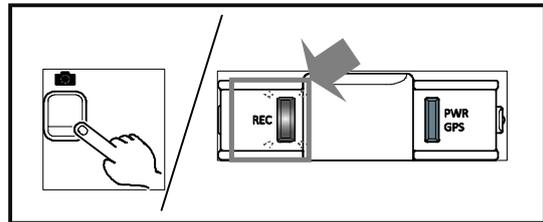
静止画を撮影する

静止画を 1 枚撮影します。

「 静止画撮影スイッチ」を短押しするとビープ音が 1 回鳴り、静止画を 1 枚撮影します。

記録中は「記録 LED」が赤色に点灯します。

記録 LED が消灯後、次の静止画を撮影することができます。



静止画ファイルは JPEG 方式(拡張子: .jpg)で記録されます。

解像度は以下の 3 種類です。

Full HD	1920 x 1080
HD	1280 x 720
VGA	640 x 480

静止画ファイルについて

静止画ファイル撮影時のmicroSDカード容量制限について

microSD カードの空き容量が 1MB(メガバイト)未満の場合、静止画撮影をすることはできません。

この場合、本機のすべての LED が 1 秒間点滅し、ビビッとビーブ音が鳴ります。

不要なデータを削除するか、空き容量が十分に
ある別の microSD カードに交換してから再度撮影を行ってください。

撮影可能時間と撮影可能枚数の目安

撮影可能時間と撮影可能枚数の目安です。

<動画ファイルの場合>

解像度	撮影可能時間
	32GB
Full HD*	約 4 時間

* 動画のみ。

<静止画ファイルの場合>

解像度	撮影可能枚数
	32GB
Full HD*	約 10 万枚

* 静止画のみ。

本機で設定を確認・変更する

本機を使用して設定の確認や変更を行います。
本機で確認および変更が可能な設定は以下のとおりです。

1. LED ライト オン/オフ
2. 画質モード(Full HD/HD/VGA)確認
3. 画質モード(Full HD/HD/VGA)変更
4. WiFi モード確認
5. WiFi モード変更
 - WiFi のオン/オフ切り替え
 - アドホック通信モードとインフラストラクチャー通信モード切り替え

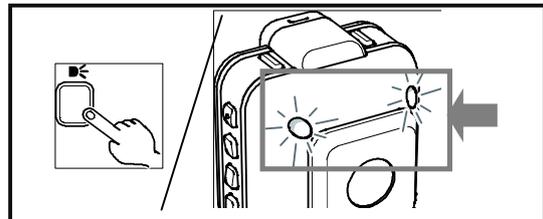
LED ライト オン/オフを切り替える

本機前面 2ヶ所に、暗所で撮影する際に便利な LED ライトを搭載しています。



<手順>

「 LED ライトスイッチ」を短押しすると LED のオン/オフを切り替えます。



この動作は本機の電源がオンの間いつでも操作を行うことができます。

画質モードを確認する

現在設定中の画質モードを確認します。
本機は次の画質モード(解像度)に対応しています。

Full HD	1920 x 1080 / 30fps
HD*	1280 x 720 / 30fps
VGA	640 x 480 / 30fps

*初期設定



<手順>

各画質モード LED の状態を確認します。

 Full HD	Full HD
 HD	HD
 VGA	VGA

選択中の画質モード LED が緑色に点灯します。
選択中でない画質モード LED は消灯します。

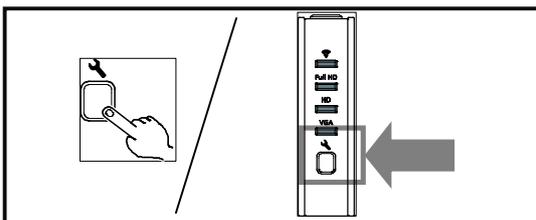
画質モードを変更する

現在設定中の画質モードを変更します。



<手順>

本機右横にあるモードスイッチを短押しします。



スイッチを押すごとにピッとビーブ音が鳴り、画質モードが変更されます。

切り替わるごとに変更された画質モード LED が緑色に点灯し、ほかの画質モード LED は消灯します。

画質モードは

VGA → HD → Full HD → VGA

の順番で切り替わります。

なお、録画中に画質モードの変更を行うことはできません。スイッチを押しても変更は反映されません。

スイッチを押す際に 2 秒以上押ししてしまうと、ほかの設定が変更されてしまうため、画質モードを変更する際は必ず短押ししてください。

WiFi モードを確認する

現在設定中の WiFi モードを確認します。



<手順>

1. WiFi LED の状態を確認します。



2. 本機の側面の WiFi LED の点灯 / 点滅および色で状態を確認します。

WiFi LED	WiFi オン / オフ	通信モード
緑色*	オン	インフラストラクチャー
青色*	オン	アドホック
消灯	オフ	-----

*通信中、LED は点灯します。

通信していない場合は点滅します。

インフラストラクチャー通信とは？

インフラストラクチャー通信とは、AP となる機器を中継点として経由し、同一のネットワーク内で機器と機器が直接通信せずに接続する通信方式を指します。

「アドホック通信」とは？

アドホック通信とは、機器と機器が1対1で直接接続する通信方式を指します。

WiFi モードを変更する

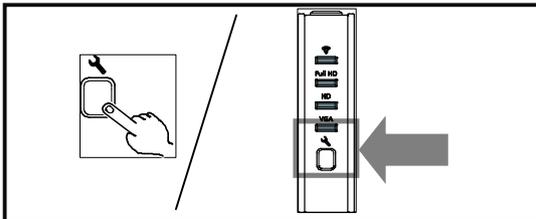
WiFi モードのオン／オフおよびインフラストラクチャー通信／アドホック通信の切り替えを行います。

WiFi モードのオン／オフを切り替える

WiFi モードのオン／オフを切り替えます。初期設定は「オン」です。



モード選択スイッチを2秒~4秒の間で長押しします。



2秒経過すると、ピピッとビープ音が鳴りますので指を離してください。

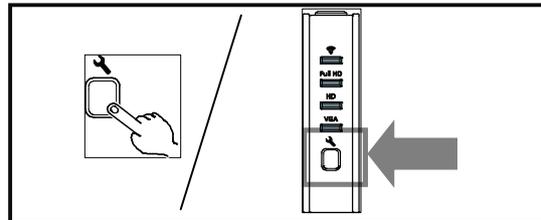
WiFi のオンとオフが切り替わります。

通信モードの切り替える

インフラストラクチャー通信モードとアドホック通信モードの切り替えを行います。初期設定は「アドホック通信モード」です。



本機側面にあるモードスイッチを4秒以上長押しします。



4秒経過すると、ピピピッとビープ音が鳴りますので指を離してください。

インフラストラクチャー通信とアドホック通信が切り替わります。

WiFi 設定時の注意点

- i. 長押しして設定を変更する際、押す時間にご注意ください。所定の時間より長い、あるいは短い場合は別設定が変更されます。
- ii. WiFi オフからオンに切り替えた際、通信モードに関しては WiFi をオフにする前の設定を反映します。

本機の日付・時刻設定について

本機は内部に時刻機能を搭載しています。
工場出荷時、日付や時刻の設定は初期状態です(2000/1/1)。

日付や時刻の設定は、QBiC 設定ツール*または QBiC Air*が必要となります。

詳しくは

→「QBiC 設定ツール」

→「QBiC Air」

をご確認ください

す。

完了するとピーツとビーブ音が鳴り、本機が工場出荷時状態に戻った状態で再起動します。

(電源 LED が緑色に点灯します)

この動作を行うと、時刻データをはじめとするすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。

なお、microSD カード内のデータはそのまま保持されます。

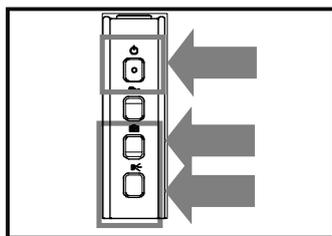
工場出荷時状態に戻す

本機を工場出荷時状態の設定に戻します。



<手順>

1. 本機の電源をオフにします。
2. 次の 3 つのスイッチを同時に 5 秒間長押しします。
 - ・ 電源スイッチ
 - ・ LED ライトスイッチ
 - ・ 静止画撮影スイッチ



3. 電源 LED が緑色に点滅し、動作を実行しま

QBiC 設定ツールを使う

QBiC 設定ツールを使うと細かな設定が可能になり、より快適に本機をお使いいただけます。QBiC 設定ツールで操作可能な動作および設定は次のとおりです。

- ・ WiFi の設定
 - ・ 録画データの画質／フレームレートの設定
 - ・ 本機映像のライブビュー表示
- など

- * ツールのバージョンにより、外観などが変更される可能性があります。

ツールをダウンロードする

QBiC 設定ツールは QBiC ウェブサイトからダウンロードしてください。

QBiC ウェブサイト

<http://www.elmoqbic.com/>

QBiC 設定ツールの対応 OS は次のとおりです。

[Windows] : Windows XP SP3* /
Windows Vista SP2 /
Windows 7 SP1

*Windows XP 64bit 版は除きます

[Mac] : OSX 10.6／10.7

インストールする

ツールをダウンロード後、次の手順に従って QBiC 設定ツールをインストールしてください。

1. ご使用の PC に管理者権限でログインし、ダウンロードしたインストールファイル QBiCSetup.msi / QBiCSetup.pkg を実行します。
2. 画面の指示に従ってインストールを行ってください。

ご使用の環境によってハードウェアとの互換性やデジタル署名についての警告メッセージが表示される場合があります。「“ELMO COMPANY, LIMITED”からのソフトウェアを常に信頼する」にチェックを入れ、「インストールボタン」をクリックします。



3. インストールが完了すると、QBiC 設定ツールのアイコンがスタートメニューに登録されます。

お知らせ

1. ご使用の PC によって再起動を促すメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示された場合は、「はい」を選択して PC を再起動させてください。
2. QBiC 設定ツールをスタートメニューから起動する場合は、[スタート]・[すべてのプログラム]・[ELMO]・[QBiC 設定ツール]・[QBiC 設定ツール]の順にクリックします。

アンインストールする

ご使用のPCからQBiC設定ツールを削除する場合には、OSのアンインストール機能をご利用ください。

QBiC設定ツールで設定する



<手順>

1. QBiC設定ツールを起動します。



2. 本機の電源をオンにします。
既に本機の電源がオンになっている場合はそのまま構いません。
3. 付属のUSBケーブルで本機とPCを接続します。

状態を確認する

本機の状態は、「カメラ状態」から確認できます。



1. バッテリー残量
本機のバッテリーの残量を表示します。
バッテリーの残量が50%以上の場合は緑色の文字、10~49%の場合は黄色の文字、9%以下の場合には赤色の文字で表示します。
2. WiFi状態
本機のWiFiの接続状態を表示します。

アドホックの場合:

本機がアドホックに設定されているが、WiFi機器と接続していない場合、「接続中」と表示されます。

WiFi機器と接続している場合は、「リンクアップ中」と表示されます。

インフラストラクチャーの場合:

本機がインフラストラクチャーに設定され、WiFi機器と通信中の場合は「接続中」と表示されます。

WiFi機器と通信していない場合は「接続していません」と表示されます。

WiFiオフの場合:

本機のWiFi設定がオフの場合、「接続していません」と表示されます。

3. microSD カード情報

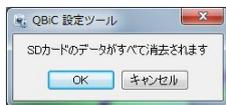
microSD カードの使用状況が円グラフで表示されます。

また、グラフの右下に microSD カードのフォーマットのカテゴリーが表示されます。

[SD カードフォーマット]

microSD カードをフォーマットします。

フォーマットする場合は「SD カードフォーマット」をクリックします。

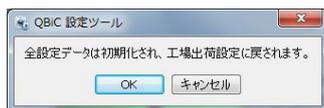


ダイアログが表示され、「OK」をクリックするとフォーマットを実行します。

[設定の初期化]

すべての設定を初期の状態に戻します。

設定を初期化する場合は、「設定の初期化」をクリックします。



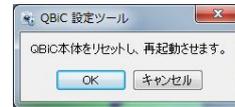
ダイアログが表示され、「OK」をクリックすると初期化を実行します。

ビープ音が鳴り、本機が再起動します。この際 QBiC 設定ツールは一度未接続状態になりますが、自動的に再接続します。

[本体リセット]

本機の電源をオフにできない場合やスイッチを押しても操作できない場合など、操作ができない場合に本機を再起動します。

リセットする場合は「本体リセット」をクリックします。



ダイアログが表示され、「OK」をクリックするとリセットを実行します。

この際 QBiC 設定ツールは一度未接続状態になりますが、自動的に再接続します。

ネットワークの設定をする

ネットワーク関連の設定は、「ネットワーク」から行います。

通信設定の変更をする

「通信モード」を切り替えることで、インフラストラクチャー／アドホック／WiFi オフの 3 種類を選択することができます。

1. インフラストラクチャー

本機をインフラストラクチャーで接続します。「インフラストラクチャー」を選択すると利用可能な AP を検索し、一覧を表示します。各 AP の右側には暗号化方式／受信強度が表示され、接続中の AP は最上段に表示されます。



AP 一覧表示で未接続の AP を選択すると暗号化キー入力ページが表示されます。

暗号化キーを入力し、適用すると AP に接続します。

なお、「ネットワークキーを表示する」にチェックを入れると入力した文字列を表示させることができます。



接続中の AP の  をクリックすると IP アドレスなどの設定ページが表示されます。



「DHCP」をオンに設定すると DHCP サーバー機能を使用して自動的にアドレスを取得します。

オフに設定すると、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定することができます。

デフォルトゲートウェイは、ルーターの IP アドレスまたは使用する環境に合わせたアド

レスを使用してください。

DHCP サーバー機能とは

IP アドレスなどのネットワーク接続に必要な項目が自動的に相手側に割当てられる機能のことです。

[AP 手動設定]

AP を手動で設定します。

接続する AP の SSID と暗号化キーを入力します。なお、「ネットワークキーを表示する」にチェックを入れると入力中の文字を確認することができます。



接続されると AP 一覧表示に、設定した AP が表示されます。

2. アドホック

本機をアドホックで接続します。

「アドホック」を選択すると、本機の「アドホック接続用 SSID」と「アドホック通信用暗号 Key」が表示されます。



アドホック接続で本機が使用する IP アドレスとサブネットマスクを設定します。

3. WiFi オフ

WiFi オフに設定すると本機の WiFi が無効になり、WiFi 接続を行いません。



アドバンス設定の変更をする

RTSP ポートの設定を行います。



1. RTSP ポート

RTSP ポートとは、リアルタイムデータのストリーミングで用いられる通信プロトコルが使用するポートで、初期値は 554 を使用します。

手動での設定が必要ない場合はチェックを入れてください。

映像配信の設定をする

本機の映像配信の設定は「映像配信設定」から設定を行います。

映像共通設定

画面の明るさと回転を設定します。



1. 明るさ設定

映像の明るさを 5 段階で調整します。

2. 映像をキャプチャする

「キャプチャ」をクリックすると現在表示されている本機の映像を JPEG 画像で保存することができます。

本体録画設定

録画解像度を設定します。



1. 本体録画解像度の設定

録画するファイルの解像度を次の 4 種類から設定します。

- ・ フル HD 画質 (1920x1080)
- ・ HD 画質 (1280x720)
- ・ VGA 画質 (640x480)

解像度が高いほど画質は良くなりますが、撮影可能時間は短くなります。
工場出荷時は VGA に設定されています。

ライブ設定

ライブ映像の設定を行います。



1. ライブビュー解像度設定

ライブビュー画解像度を次の 2 種類から設定します。

- ・ ファイン画質 (800x480)
- ・ 標準画質 (320x240)

数値が大きいほど画質は良くなりますが、配信に負荷がかかります。
工場出荷時はファイン画質に設定されています。

2. ライブビューフレームレート設定

ライブビューフレームレートを設定します。
1, 6, 10, 15, 30fps の 5 段階で設定することができます。

数値が大きいほど映像が滑らかになりますが、配信に負荷がかかります。
工場出荷時は 30fps に設定されています。

インターバル設定

インターバル撮影の設定を行います。



1. インターバル撮影の有効／無効

「インターバル撮影を行う」にチェックを入れるとインターバル撮影を行うことができます。

2. 撮影周期
設定された時間ごとに静止画を撮影します。
3. 待ち時間
設定してから1回目の静止画撮影を実行するまでの時間を指定します。

基本設定をする

日付時刻やGPSなどの設定は「基本設定」から行います。

時刻設定

日付と時刻に関する設定を行います。



1. タイムゾーンを設定する
プルダウンメニューからお住まいの地域を選択します。
2. 日付時刻を設定する
上下ボタンで現在の日付と時刻を入力します。
「PC の時刻に合わせる」をクリックすると PC から時刻情報を取得して本機の時刻を

合わせます。

「GPS 情報から時刻を自動的に合わせる」にチェックを入れると、本機の電源をオンにした際、最初に受信した GPS 情報を利用して時刻を合わせます。

GPS 設定

GPS の動作を設定します。



1. GPS の有効／無効
「GPS 機能を有効にする」にチェックを入れると GPS 機能を使用することができます。
2. GPS ログの記録
「ログを残す」にチェックを入れると、GPS ログ情報を microSD カードに記録することができます。
3. GPS ログのフォーマット指定
記録する GPS ログのフォーマットを選択します。

GPS に関する詳細は

→「GPS 機能」

をご確認ください。

WiFi 設定

WiFi の動作を設定します。



1. WiFi 対応国を設定する

プルダウンメニューからお住まいの地域を選択します。

インフラストラクチャーで接続している場合、「自動」を選択することができます。アドホックでは「自動」を選択することができません。

2. WiFi 自動オフを設定する

「WiFi 機能を自動的にオフにする」にチェックを入れると、本機が WiFi 機器と接続していない時間が設定時間経過した際に WiFi を自動でオフします。

時間は 1 分から 10 分までの間で選択可能です。



WiFi は対応されていない地域で使用することができません。各国の電波法に違反する恐れがあります。

パスワード設定

パスワードを設定してセキュリティを向上させることができます。



「パスワード認証を有効にする」にチェックを入れると、パスワードを設定することができます。文字数は 16 文字まで入力が可能です。



パスワードで使用可能な文字は次のとおりです。

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

そのほかの設定

本機のカメラ名の変更や LED ライトの設定などを行います。



1. カメラ名を設定する
QBiC Airに表示される本機の名前を設定します。
文字数は8文字まで入力が可能です。
2. 「起動時設定」のLEDライトを設定する
「点灯する」を選択すると、本機の電源をオンにした際にLEDライトが点灯します。
3. 電池残量アラームを設定する
「電池残量が低下したときにアラームが鳴る」にチェックを入れると、バッテリー残量が少なくなった場合にブザー音で警告します。
4. オートパワーオフ
「オートパワーオフ」にチェックをいれると、設定された時間操作がされない場合、自動で本機の電源をオフします。



カメラ名で使用可能な文字は次のとおりです。

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 ~ _ - .

ヘルプを使う

本機のバージョン確認、バージョンアップ等を行います。

- * ヘルプのページはWindows版とMac版で異なります。



[ライセンス表示]

*Windows版のみ

QBiC 設定ツールおよび本機のライセンスに関する注意事項が表示されます。

「ライセンスを表示する」をクリックすると、ご使用のウェブブラウザが起動しブラウザ上に表示されます。

[QBiC 設定ツールバージョン]

QBiC 設定ツールのバージョンを表示します。

[QBiC 設定ツールのバージョンアップ]

***Windows 版のみ**

QBiC 設定ツールのバージョンアップを行います。

新しいバージョンがある場合はダウンロードを行い、バージョンアップを開始します。再起動を促すダイアログが表示された場合は PC を再起動してください。

*Mac 版の新しいバージョンは QBiC ウェブサイトでご確認ください。

[QBiC 本体バージョン]

本機のファームウェアバージョンを表示します。

[QBiC のバージョンアップ]

***Windows 版のみ**

本機のファームウェアのバージョンアップを行います。

新しいバージョンがある場合は、バージョンアップの実行を問い合わせるダイアログが表示されます。

「はい」をクリックすると、バージョンアップを開始します。

バージョンアップが終了すると、本機の電源が自動でオフになります。

なお、microSD カードに十分な空き容量がない場合、アップデートが正常に実行されません。十分な空き容量があることを確認してから実行してください。

[シリアル番号]

本機のシリアル番号を表示します。

[MAC アドレス]

本機に取り付けられた WiFi カードの MAC アドレスを表示します。

[仕向地]

本機の仕向地を表示します。

[最新のソフトウェアがある場合は通知する]

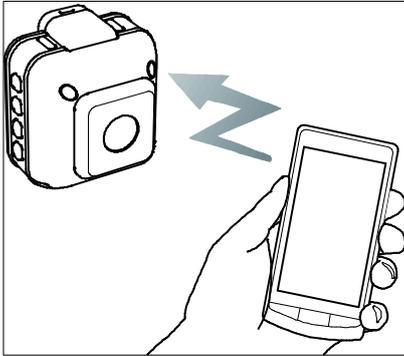
***Windows 版のみ**

QBiC 設定ツール、または本機のファームウェアの新しいバージョンが用意されると、QBiC 設定ツールを起動した際に更新通知を表示します。



ライセンスの表示、本機および QBiC 設定ツールのアップデート、更新の通知にはご使用の PC がインターネットに接続されている必要があります。

QBiC Air を使う



QBiC Air を使うと本機とスマートフォンやタブレットを WiFi 経由で、撮影中の映像をリアルタイムに視聴することができます。

QBiC Air をダウンロード・インストールする

<iOS の場合>

App Store から「QBiC Air」アプリをダウンロードします。

App Store より「QBiC Air」を検索してください。

画面の指示に従い、インストールを完了してください。

ホーム画面に QBiC Air アイコンが表示されます。

<Android OS の場合>

Google Play から「QBiC Air」アプリをダウンロードします。

Google Play より「QBiC Air」を検索してください。

画面の指示に従い、インストールを完了してください。

ホーム画面に QBiC Air アイコンが表示されま

す。



QBiC Air アイコン

App Store、および Google Play を使用したダウンロード方法に関する詳しい情報は、Apple 社および Google 社までお問い合わせください。

対応機器について

QBiC Air を使用できるスマートフォンやタブレットの OS およびバージョンは以下のとおりです。

[iOS (iPhone/iPad/iPod touch)]	:5.1
[Android OS]	:4.0

* いずれの端末におきましても、すべての機種の動作を保証するものではありません。

通信距離について

本機とスマートフォンやタブレットの通信距離はシステムの構成や周囲の環境により大幅に異なります。

屋内では床や壁、屋外ではビルなどの遮蔽物が通信距離に影響を与える場合があります。

通信エラーが発生して本機とスマートフォンやタブレットの接続に問題がある場合、通信設定をご確認いただくとともに、本機とスマートフォンやタブレットの距離を短くしたり、通信場所を変更してから再度実行してください。

インターネット接続についての注意点

- i. ネットワーク接続に関するトラブルやセキュリティに関しまして、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ii. インフラストラクチャー通信設定を行う場合の AP をお客様各自でご用意していただく必要があります。
AP に関するご質問はそれぞれお使いになる機器の取扱説明書をご確認ください。
またはメーカーにお問い合わせください。



2. 本機の電源をオンにします。
3. 本機の WiFi モードをアドホック通信モードに設定する。



WiFi モードの切り替え方法は、
→「WiFi モードを変更する」
をご確認ください。

4. スマートフォンやタブレットを設定する。
スマートフォンやタブレットの設定方法については、お使いになる機器の取扱説明書をご確認ください。
5. スマートフォンやタブレットのホーム画面よりあらかじめインストールした「QBiC Air」アプリをタップして起動します。



6. あらかじめパスワードが設定されている場合はパスワード入力画面が表示されます。
パスワードを入力してください。
(工場出荷時、パスワードは設定されていません)
7. 本機の映像が表示され、ライブビューが開始します。

QBiC Air 上で通信エラーメッセージが表示された場合、本機とスマートフォンやタブレ

QBiC Air を接続する

お使いの環境に合わせて、アドホック通信、またはインフラストラクチャー通信をお選びください。

アドホック通信

お使いの機器がアドホック通信に対応しているか、必ずご確認ください。
対応していない場合、アドホック通信モードで接続することはできません。

アドホック通信で接続する

アドホック通信を行います。



<手順>

1. 本機の底面に製品型式などが記載された定格ラベルが貼付されています。「SSID」と「KEY (暗号キー)」が記載されていることを確認してください。

ットの設定を再度確認し、本機およびスマートフォンやタブレットを再起動してから QBiC Air を再起動してください。

工場出荷時の

本機の IP アドレスは **192.168.111.10**

サブネットマスクは **255.255.255.0**

に設定されています。



6.  ボタンをタップすると前の画面に戻ります。

QBiC Air で本機の IP アドレスとサブネットマスクを確認する

QBiC Air でアドホックモードでの IP アドレスおよびサブネットマスクを確認することが可能です。ただし、設定を行うことはできません。



<手順>

1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。
タップ後、アイコンが表示されます。

2. [設定アイコン]をタップします。



3. [ネットワークアイコン]をタップします。



4. [アドホック通信設定アイコン]をタップします。



5. [アドホック通信設定画面]が表示されます。

定格拉ベルで SSID および KEY(暗号キー)が確認できない場合

定格拉ベルがはがれてしまったり、なんらかの理由により SSID および KEY(暗号キー)が確認できない場合、「QBiC 設定ツール」を使用することにより、SSID と KEY を確認することができます。

詳しくは

→「**QBiC 設定ツール**」

をご確認ください。

アドホックモードで通信する際の注意点

アドホックモードで本機とスマートフォンおよびタブレットの通信中は、インターネットへの接続はできません。

そのためウェブブラウザなど、インターネット回線を使用したスマートフォンやタブレットの機能を使うことはできません。

インターネット通信をご使用になる場合は WiFi の設定を切り替えてからお使いください。

また、切り替えることにより、本機との接続は切断されます。

インフラストラクチャー通信

インフラストラクチャー通信で接続する前に

お使いのスマートフォンやタブレットがインフラストラクチャー通信に対応しているか、必ずご確認ください。

対応していない場合、インフラストラクチャー通信モードで接続することはできません。

インフラストラクチャー通信で接続するには別途「AP」が必要です。

あらかじめ AP をご用意いただき、機器の取扱説明書をご用意してから先にお進みください。

インフラストラクチャーモードで接続する



<手順>

1. QBiC 設定ツールで本機をインフラストラクチャーモードで AP と接続します。

詳しくは

→「QBiC 設定ツール」

をご確認ください。

2. スマートフォンやタブレットを AP と接続します。
3. ホーム画面に戻り、「QBiC Air」アプリをタップして起動します。
4. 本機の映像が表示され、ライブビューが開始します。

QBiC Air で通信エラーメッセージが表示された場合、本機とスマートフォンやタブレットの設定を再度確認し、再起動してから QBiC Air を再起動してください。

QBiC Air で本機の DHCP サーバー機能を切り替える

QBiC Air で、DHCP サーバー機能のオンとオフを切り替えます。



<手順>

1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。
タップ後、アイコンが表示されます。

2. [設定アイコン]をタップします。



3. [ネットワークアイコン]をタップします。



4. [インフラストラクチャー通信設定アイコン]をタップします。



5. [インフラストラクチャー通信設定画面]が表示されます。



矢印の部分をスライドしてオンとオフを切り

替えます。

6. 次の画面が表示されます。



本機の IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイをそれぞれタップして入力します。

デフォルトゲートウェイは、ルーターの IP アドレスまたは使用する環境に合わせたアドレスを使用してください。

7. ボタンをタップすると設定を終了して前の画面に戻ります。

QBiC Air で本機を遠隔から操作する

QBiC Air は遠隔で本機の操作および設定ができる「リモートコントロール機能」に対応しています。

本機を直接操作することが難しい場所にも本機を設置することができ、自由な場所から撮影や設定変更を行うことができるため、操作性が向上します。

操作可能な操作および設定は次のとおりです。

1. 動画撮影
2. 静止画撮影
3. インターバル撮影／設定
4. カメラ詳細情報
5. LED ライト オン／オフ
6. 画質モード(Full HD／HD／VGA)設定
7. インフラストラクチャー通信設定
8. アドホック通信設定
9. パスワード設定
10. カメラ名設定
11. GPS 設定
12. microSD カードフォーマット
13. オートパワーオフ設定
14. ライブビューフレームレート設定
15. カメラ切り替え

リモートコントロール機能を使用する際の注意点

QBiC Air を使用してリモートコントロール機能を使用する際、以下の点にご注意ください。

- i. 本機と QBiC Air が通信している場合のみ (ライブビュー映像が表示されている場合のみ) リモートコントロールが可能です。

接続方法に関しましては

→「**QBiC Air と本機の接続**」

をご確認ください。

- ii. 通信環境により、一時的に通信が途切れ、リモートコントロール操作が完了しない場合があります。そのような場合はエラーが表示されます。エラーが表示された際は場所を変更するなどしてから再度操作を実行してください。
- iii. 本機とスマートフォンやタブレットの通信距

離はシステムの構成や周囲の環境により大幅に異なります。

屋内では床や壁、屋外ではビルなどの遮蔽物が通信距離に影響を与える場合があります。

通信エラーが発生して本機とスマートフォンやタブレットの接続に問題がある場合、通信設定をご確認いただくとともに、本機とスマートフォンやタブレットの距離を短くしたり、通信場所を変更してから再度実行してください。

- iv. 本機と QBiC Air を接続中、本機とスマートフォンやタブレットの距離が近い場合、ハウリング現象が発生し、外部音(ノイズ音)が出力されることがあります。
ハウリング現象が発生しましたら、本機とスマートフォンやタブレットを離してご使用ください。

各種設定をする

各機能の操作および設定の方法を説明します。

動画を撮影する

動画をファイル記録します。

記録したデータは本機内の microSD カードに保存されます。



<手順>

1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。
タップ後、アイコンが表示されます。
2. [動画撮影アイコン]をタップします。



ピッとビーブ音が鳴り、録画を開始します。
録画中はライブビュー映像に ● が表示されます。

3. もう一度[動画撮影アイコン]をタップするとピッとビーブ音が鳴り、録画を終了します。
ライブビュー映像の ● は非表示になります。

各アイコン以外の場所をタップするとすべてのアイコンが非表示になります。

録画とライブビューに関する注意点

1. Full HD 選択時のライブビュー制限について

画質モードで Full HD を選択している場合、録画を開始すると QBiC Air へのライブビュー配信は一旦停止となり、QBiC Air にダイアログが表示されます。

(録画は続行されます)

録画が終了すると再びライブビューが表示されます。

2. HD あるいは VGA 選択時のライブビュー制限について

画質モードで HD あるいは VGA を選択している場合、録画を開始すると QBiC Air のライブビュー配信は一旦停止します。

その後本機と QBiC Air が接続可能な状態の場合は自動で通信が再開し、ライブビュー映像が再び表示されますが、音声は出力されません(映像のみが表示されます)。

録画が終了すると再び映像が一旦停止となり、本機と QBiC Air が接続可能な状態の場合は自動で通信が再開し、映像と音声の両方が出力されます。

静止画を撮影する

静止画を 1 枚撮影します。



<手順>

1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。
タップ後、アイコンが表示されます。
2. [静止画撮影アイコン]をタップします。

3. ピッとビーブ音が鳴り、静止画を 1 枚撮影します。
静止画撮影中はライブビュー映像が一時的に停止します。
4. ライブビュー映像が表示されましたら再度静止画を撮影することができます。

各アイコン以外の場所をタップするとすべてのアイコンが非表示になります。

インターバル撮影を行う

一定の間隔で静止画を連続して撮影します。撮影周期(1 枚目の静止画を撮影してから次の静止画を撮影するまでの時間)および待ち時間(設定してから撮影を開始するまでの時間)を設定します。

初期設定はオフです。



<手順>

1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。
タップ後、アイコンが表示されます。
2. [設定アイコン]をタップします。

3. [撮影設定アイコン]をタップします。

4. [インターバル撮影設定アイコン]をタップします。

5. [インターバル撮影設定画面]が表示されます。



「インターバル撮影設定」を「オフ」から「オン」へスライドさせます。

「撮影周期」を設定します。

1 秒から 24 時間までの間で設定することができ、設定された時間ごとに静止画を撮影します。

設定可能な時間以外の時間を設定するとエラーメッセージが表示されます。

確認の上、再度入力してください。

「待ち時間」を設定します。

設定してから1回目の静止画撮影を実行するまでの時間を指定します。

設定された時間からインターバル撮影を行います。

0秒～72時間までの間で設定します。

なお、待ち時間が0秒で設定されている場合、インターバル撮影設定はキャンセルされます。

6.  をタップすると設定を終了して前の画面に戻ります。

「待ち時間」で設定した時間が経過すると静止画を1枚撮影します。

そのあとは、「撮影周期」で設定した時間が来ると静止画撮影を繰り返します。

インターバル撮影に関する注意点

インターバル撮影を行うに当たり、次の点にご注意ください。

1. インターバル撮影をキャンセルしたい

以下のいずれかの状態になるとインターバル撮影を終了します。

ア. QBIC Air あるいは「QBIC 設定ツール」にてインターバル撮影をオフにする

イ. 動画を撮影する

ウ. 本機の電源をオフにする

ただし、撮影周期を30分以上に設定している場合は次の状態になります。

撮影周期が30分以上の場合

お客様自身による任意の操作(撮影動作や設定変更)等がないまま撮影から30分が経過した場合、省電力のため、本機は自動で電源をオフします。

その後、撮影周期で設定した撮影周期のおよそ10秒前に本機の電源がオンになり、設定した周期になると静止画撮影を行います。

この場合、本機の電源を手動でオフした場合でも設定時刻になると再び電源がオンになり、撮影を行い、インターバル撮影はキャンセルされません。

キャンセルする場合は、**ア.**もしくは**イ.**の方法でインターバル撮影をキャンセルしてください。

2. 撮影開始時刻よりも前に手動で静止画撮影を行った場合

インターバル撮影を実行後、設定した待ち時間より先に手動で静止画撮影を行った場合、設定した待ち時間はキャンセルとなります。

上記のタイミングで静止画を撮影した後は設定した撮影周期に従って静止画撮影が行われます。

3. インターバル撮影の制限について

次の条件の場合、インターバル撮影を設定しても動作せず、設定が自動的にキャンセルされます。

ア. microSD 内の空き容量が静止画保存の下限サイズに達した場合

イ. 本機のバッテリー残量が少なくなった場合

ウ. インターバル撮影中に手動で動画・静止画撮影を行った場合

4. 撮影周期について

QBiC Air で設定可能な撮影周期は 1 秒~24 時間ですが、「QBiC 設定ツール」では 1 秒~72 時間までの設定が可能です。

詳しくは

→「QBiC 設定ツール」

をご確認ください。

5. ライブビュー表示とインターバル撮影について

WiFi でホスト検索中は、インターバル撮影が正常に動作しない場合があります。

カメラ詳細情報を確認する

本機に関する詳細の情報を表示します。
この設定は本機と QBiC Air が通信中であれば撮影状態に関係なく常時行うことができます。



1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。

タップ後、アイコンが表示されます。

2. [カメラ詳細情報アイコン]をタップします。



3. [カメラ詳細情報画面]が表示されます。



[カメラバッテリー残量]

本機のバッテリー残量の目安を表示します。

	75~100%
	50~74%
	25~49%
	25%未満

[録画可能時間]

設定中の画質モードでの、動画撮影可能時間の目安を表示します。



[静止画撮影可能枚数]

設定中の画質モードでの、静止画撮影可能枚数の目安を表示します。



[画質モード]

選択中の画質モードを表示します。

	Full HD
--	---------

	HD
	VGA

[GPS 情報]

本機が捕捉した位置情報を表示します。
表示形式は度／分となります。

本機が屋内にあるなどして GPS 信号を捕捉していない場合は何も表示されません。

GPS:

[カメラ通信環境]

本機の通信の安定状況を表示します。
3 段階で表示されます。

	とても安定しています
	安定しています
	安定していません

[アプリバージョン]

QBiC Air のバージョンを表示します。

Version:

各アイコン以外の任意の場所をタップするとすべてのアイコンが非表示になります。

LED ライトのオン／オフを切り替える

暗い場所で撮影する際に LED ライトを点灯し、レンズ周辺を明るく照らします。

LED ライトは本機の前面に 2 箇所搭載されています。

この設定は本機と QBiC Air が通信中であれば

撮影状態に関係なく常時行うことができます。
初期設定はオフです。



<手順>

1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。
タップ後、アイコンが表示されます。

2. [設定アイコン]をタップします。



3. [撮影設定アイコン]をタップします。



4. LED ライトアイコンをタップするとアイコンが切り替わり、LED ライトが点灯します。
再度タップするとアイコンが切り替わり、LED ライトが消灯します。

	オン
	オフ

5. バーの  アイコンをタップすると、1 階層前の画面に戻ります。
あるいは、バー以外の任意の場所をタップするとすべてのアイコンが非表示になります。

画質モードを設定する

画質モードを設定します。

動画・静止画ともに3つの画質モードに対応しています。

Full HD	1920 x 1080 / 30fps
HD	1280 x 720 / 30fps
VGA	640 x 480 / 30fps

初期設定は「HD」です。



<手順>

1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。
タップ後、アイコンが表示されます。

2. [設定アイコン]をタップします。



3. [撮影設定アイコン]をタップします。



現在設定中の画質モードがハイライト表示されます。

変更する場合はそれぞれの該当する画質モードアイコンをタップしてください。変更が完了すると新しく選択された画質モードアイコンがハイライトされます。

ハイライトされている状態とハイライトされていない状態のアイコンは次のとおりです。

	Full HD	HD	VGA
ハイライト中			
非ハイライト中			

4. バーの アイコンをタップすると、1階層前の画面に戻ります。
あるいは、バー以外の任意の場所をタップするとすべてのアイコンが非表示になります。



ライブビューの解像度について

ライブビュー映像の解像度は「QBiC 設定ツール」で設定が可能です。

初期設定は WVGA (800 x 480)です。

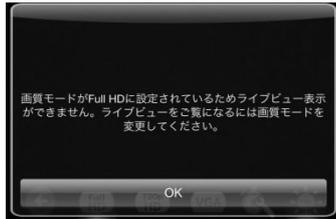
詳しくは

→「QBiC 設定ツール」

をご確認ください。

フル HD 選択時のご注意

Full HD 選択時もしくは動画撮影中はライブビュー映像は本機より出力されません。



画質モード設定で Full HD を選択すると QBiC Air にダイアログが表示されます。また、Full HD で録画を実行際にもダイアログが表示されます。「OK」をタップすると、ダイアログは非表示になりますが、ライブビューの配信は行われなため、画面はフリーズしたような状態になります。その後、動画撮影が完了すると、再びライブビュー映像が QBiC Air に表示されます。

HD/VGA 選択時のご注意

HD あるいは VGA を選択時、動画撮影が開始になるとライブビュー映像は一旦停止します。その後、自動で再度接続が行われ、通信環境に問題ない場合は再びライブビュー映像が表示されます。ただし、音声は出力されません。映像のみが表示されます。

パスワードを設定する

本機と QBiC Air を接続する際、パスワードで保護することができます。複数台の本機が同じネットワーク内にある場合に、特定のスマートフォンやタブレットで表示させたいときなどに使用します。初期設定はオフです。



<手順>

1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。タップ後、アイコンが表示されます。
2. [設定アイコン]をタップします。

3. [ネットワークアイコン]をタップします。

4. [セキュリティ設定アイコン]をタップします。

5. [セキュリティ設定画面]が表示されます。



6. 「パスワード設定」を「オン」にスライドします。
「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」が表示されます。

「新しいパスワード」の右側をタップしてダイアログを表示し、1~16文字までの任意の文字を入力します。



パスワードに使用することができる文字は以下のとおりです

**A,B,C,D,E,F,G,H,I,J,K,L,M,N,O,
P,Q,R,S,T,U,V,W,X,Y,Z,
a,b,c,d,e,f,g,h,i,j,k,l,m,n,o,
p,q,r,s,t,u,v,w,x,y,z,
0,1,2,3,4,5,6,7,8,9**

「新しいパスワードの確認」で先程入力したパスワードと同じ文字を入力します。

7.  をタップすると設定を終了して前の画面に戻ります。
8. 次に本機とQBiC Airの通信を開始する際、あるいは本機の切り替えを行う際に、パスワードを設定したカメラ名の前に鍵のアイコンが表示されます。



接続するカメラをタップするとパスワード入力画面が表示されます。入力欄をタップしてキーボードを表示させます。



パスワードを入力してください。

設定したパスワードを入力後、「OK」をタップすると入力画面が非表示になり、ライブビュー映像が表示されます。

セキュリティ設定画面に関する注意点

セキュリティ設定画面において、一度パスワードを設定し、そのあと  をタップして前の画面に戻った後、再度パスワード設定画面を表示した場合、パスワードを入力しないとエラーが表示され、前の画面に戻ることはできません。

その際は、再度パスワードを設定するか、一度パスワード設定をオフにして前の画面に戻り、再度パスワードを設定してください。

パスワードを忘れてしまった

パスワードを確認する方法はありません。
本機、あるいは「QBiC 設定ツール」を使用して本機を工場出荷時状態に戻してください。すべての設定がクリアされ、パスワード設定はオフの状態に戻ります。
そのあと、必要に応じて再度パスワードを設定してください。

工場出荷時設定状態に戻す方法は
→「本機で設定を確認・変更する」
→「QBiC 設定ツール」
をご確認ください。

カメラ名を設定する

本機に設定されたカメラ名の確認および変更を行います。

工場出荷時、「QBiC」というカメラ名が設定されています。

同じネットワーク内に本機が 2 台以上ある場合などに、接続したい本機がどれか分からなくなることが考えられます。

そのような場合、カメラ名を変更することで該当する本機を選択することができるようになります。



1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。
タップ後、アイコンが表示されます。
2. [設定アイコン]をタップします。



3. [ネットワーク設定アイコン]をタップします。



4. [セキュリティアイコン]をタップします。



5. [セキュリティ設定画面]が表示されます。



6. 「カメラ名を変更する」をタップします。
7. [カメラ名確認・変更画面]が表示されます。



現在使用中のカメラ名が表示されます。

カメラ名を変更する場合、カメラ名が表示されている箇所をタップしてダイアログを表示し、1~8 文字までの任意の文字を入力します。



カメラ名に使用することができる文字は以下のとおりです

**A,B,C,D,E,F,G,H,I,J,K,L,M,N,O,
P,Q,R,S,T,U,V,W,X,Y,Z,
a,b,c,d,e,f,g,h,i,j,k,l,m,n,o,
p,q,r,s,t,u,v,w,x,y,z,
0,1,2,3,4,5,6,7,8,9**

入力が終わりましたら新しいカメラ名を確認します。

8.  をタップすると設定を終了して前の画面に戻ります。

GPSを設定する

GPS のオン／オフおよび GPS アシスト設定のオン／オフの設定を行います。

詳しくは

→「GPS」

をご確認ください。

GPS をオンに設定すると、本機の電源がオンの間、常に GPS のログ情報を取得して microSD カード内にデータを記録します。

オフに設定すると GPS の捕捉を行いません(ログを記録しません)。

初期設定はオンです。

GPS アシストを「オン」に設定すると、本機の時刻情報を GPS の時刻情報と同期します。本機の電源がオンになり、その後初めて GPS 情報が捕捉された時点で同期します。オフに設定すると同期しません。初期設定はオンです。



1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。
タップ後、アイコンが表示されます。

2. [設定アイコン]をタップします。



3. [詳細設定アイコン]をタップします。



4. [そのほか設定画面]が表示されます。



5. [GPS 設定アイコン]をタップします。



6. [GPS 設定画面]が表示されます。



7. 「GPS」横のスライドスイッチでオンとオフを設定します。
8. 「GPS アシスト設定」横のスライドスイッチでオンとオフを設定します。
9.  をタップすると設定を終了して前の画面に戻ります。

microSD カードをフォーマットする

本機内にある microSD カードをフォーマットします。
 カード内のデータはすべて削除されますのでご注意ください。必ずデータのバックアップを行ってから本操作を実行してください。
 microSD カードは FAT32 形式でフォーマットされます。



1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。
 タップ後、アイコンが表示されます。
2. [設定アイコン]をタップします。

3. [詳細設定アイコン]をタップします。

4. [SD フォーマットアイコン]をタップします。

5. 確認のダイアログが表示されます。



フォーマットを実行する場合は「OK」を、実行しない場合は「キャンセル」をタップします。

「OK」をタップすると microSD カードフォーマットが実行され、完了後ピピッとピープ音が鳴り、前の画面に戻ります。

フォーマットに関する注意点

microSD カードは本機あるいは「QBiC 設定ツール」でのみフォーマットしてください。

カードの種類やメーカーにより本機で使用できなくなる可能性があります。

オートパワーオフ設定／ ライブビューフレームレート設定を行う

[オートパワーオフ設定]

本機の電源がオンの状態で一定の時間操作がされない場合、自動で本機の電源をオフにする機能です。

オフに設定されている場合は、無操作状態の経過時間に関わらず、本機の電源は常にオンの状態になります。

初期設定はオン(30分)です。

[ライブビューフレームレート設定]

本機と QBiC Air の通信が不安定な環境下などで動画を表示する場合、映像が一時的に止まったり途切れたりする場合があります。

このような場合にライブビューフレームレートを変更することで改善できる場合があります。



<手順>

1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。
タップ後、アイコンが表示されます。

2. [設定アイコン]をタップします。



3. [詳細設定アイコン]をタップします。



4. [そのほか設定アイコン]をタップします。



5. [そのほか設定画面]が表示されます。



6. 「オートパワーオフ」のスライドスイッチでオンとオフを設定します。

7. 「ライブビューフレームレート」の各ボタンをタップしフレームレートを選択します。

フレームレートは

- 6 fps (6 フレーム/秒)
- 10 fps (10 フレーム/秒)
- 15 fps (15 フレーム/秒)
- 30 fps (30 フレーム/秒)

から選択します。

8.  をタップすると設定を終了して前の画面に戻ります。

オートパワーオフに関する注意点

1. オートパワーオフ設定時のインターバル撮影について

オートパワーオフ設定をオンにし、なおかつインターバル撮影で撮影周期を 30 分以上に設定している場合、無操作状態が 30 分続くことにより自動で本機の電源がオフになったあと、インターバル撮影で設定した

撮影周期になると本機の電源を自動でオンにします。
 そのあと無操作状態が 30 分間続いた場合、再度本機の電源は自動でオフされます。

2. オートパワーオフ設定時間について

オートパワーオフ設定時間は QBiC 設定ツールを使用することにより、1 分から 72 時間までの間で時間の変更が可能です。

詳しくは
 →「QBiC 設定ツール」
 をご確認ください。

ライブビューフレームレートに関する注意点

ライブビューとして QBiC Air に表示される映像は、静止画ファイルを連続して送ることにより表現しています。

本機と QBiC Air の通信状態が何らかの理由で不安定になると、本機から配信される映像が途中で一時的に止まったり、途切れたりする場合があります。

これは QBiC Air が静止画ファイルを受け取るタイミングにばらつきが発生すると、一度に大量のデータを受け取ったり、あるいは適切なタイミングでファイルを受け取ることができず、スムーズな動画表現ができなくなってしまうことが原因です。

このよう場合、ライブビューフレームレートを変更し、本機が QBiC Air に対して 1 秒あたりに送信する静止画ファイルの数を調整することで、状況が改善する場合があります。

通信状態に特に問題がない場合は 30fps での使用をお勧めしますが、30fps でスムーズに映像が表示できない場合は設定を変えてお試しください。

カメラを切り替える

同じネットワーク内に 2 台以上の本機がある場合に、ライブビュー表示をする本機を QBiC Air から切り替えることができます。



1. QBiC Air のライブビュー映像の任意の場所をタップします。
 タップ後、アイコンが表示されます。

2. [設定アイコン]をタップします。



3. [ネットワークアイコン]をタップします。



4. [カメラ切り替えアイコン]をタップします。



5. [カメラ選択画面]が表示されます。



接続可能なカメラの一覧が表示されます。

6. 接続するカメラ名をタップします。
パスワードを設定していない場合はライブビューが表示されます。

パスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。
パスワードを入力すると、ライブビューが表示されます。

- 簡体字(中国)
- 繁体字(台湾)

QBiC Air の起動時に、スマートフォンやタブレットの OS で設定されている言語が自動で選択されます。

OS が上記以外の言語で設定されている場合は英語が自動で選択されます。

本機の時刻をスマートフォンやタブレットと同期する

本機と QBiC Air が接続開始する際、自動でスマートフォンやタブレットの日付、時刻、およびタイムゾーン情報を読み込み、本機と同期します。
設定は必要ありません。

QBiC 設定ツールを使用して上記の情報を変更したあと、QBiC Air で本機に接続すると、本機の時刻設定はスマートフォンやタブレットの時刻情報と同期してしまいますのでご注意ください。

QBiC Air の言語を変更する場合、スマートフォンやタブレットの設定で言語を変更してから QBiC Air を再起動してください。

QBiC Air の対応言語について

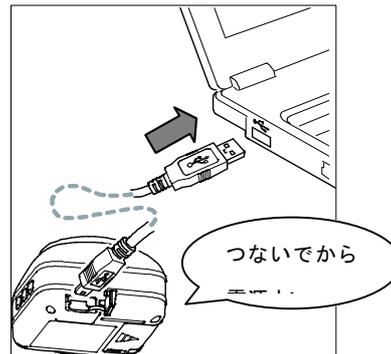
QBiC Air は、以下の言語に対応しています：

- 日本語
- 英語
- スペイン語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- オランダ語
- ロシア語
- トルコ語
- ポーランド語

データを取り込む

本機はマストレージに対応しており、microSD カードを外部記憶装置として認識させることができます。

本機と PC をマストレージで接続すると、microSD カードを取り出すことなくカード内に保存されたデータを取り込むことができます。



マストレージモードで起動する



<手順>

1. 本機の microUSB カバーを開きます。
本機の電源をオフにした状態で、PC と本機を付属の USB ケーブルで接続します。
接続する際は USB コネクタの向きにご注意ください。
2. 本機の電源スイッチを 5 秒以上長押しします。
3. ピーツピツとビーブ音が鳴り、本機内部の microSD カードがリムーバブルディスクとして認識されます。
4. 操作完了後、本機の電源をオフにした状態で USB ケーブルを本機から抜き、本機底面にある microUSB カバーを取り付けます。
この際、microUSB カバーは必ず奥まで挿入してください。不十分な場合、防水性が損なわれ、本機が故障する原因となります。

フォルダ構成

microSD カード内のフォルダ構成は以下のとおりです。

ルートフォルダには、次のフォルダが自動的に作成されます。

/DCIM

ルートフォルダ以下のサブフォルダは以下のようにな名前が付けられます。

*****_ELMO**



↑フォルダインデックス

フォルダインデックスには 100~999 までの数字が入ります。

フォルダ内には動画・静止画等のファイルが格納されます。

ファイルフォーマットは以下のとおりです。

動画 : E000**.mp4**

静止画: E000**.jpg**

E は固定です。

E の後ろの「000」部分にはフォルダインデッ

クス番号が入ります。

「* * * *」部分には 0001~0999 までの数字が入ります。

ファイルインデックス番号が 0999 に達した場合、その次にファイルを作成する際にフォルダインデックスを 1 つ進めたフォルダが自動で作成され、新規に作成したフォルダ内にファイルを保存していきます。

その場合に作成されるファイルのファイルインデックスは 0001 からとなります。

作成されるフォルダおよびファイルインデックスは常に最後の番号+1 となり、フォルダおよびファイルの番号が連番になっていない場合でも、その間の番号を取得することはありません。

例として 001、003 というフォルダ／ファイルが microSD 内に保存されている場合、新規に作成されるフォルダ／ファイルは 004 となります。

例 1)

/DCIM

→ **102_ELMO**

→ **E1020001.jpg**

.

.

→ **E1020999.mp4**

(ファイルインデックスが 0999 の場合)

例 2)

/DCIM

→ **102_ELMO**

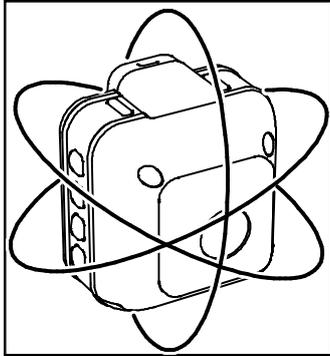
→ **103_ELMO**

→ **E1030001.jpg**

103_ELMO フォルダが新規に作成され、ファイルインデックス 0001 が作成されます

*この場合、101_ELMO フォルダは作成されません。

GPS 機能を使う



本機は衛星を使用して現在の位置や時刻を特定する、GPS(Global Positioning System)機能を搭載しています。

本機に内蔵されているGPSモジュールを利用してGPS情報を取得し、NMEAメッセージとしてGPSログファイルに記録します。

GPSログファイルは本機内のmicroSDカードに保存されるほか、静止画を撮影する際はJPEGのExifタグに位置情報を付け加えます。

GPS 情報取得の仕組み

GPS情報は、GPS設定がオンであれば、本機の電源がオンになると情報取得を開始します。

GPS情報を取得している場合、電源スイッチは青色に点灯し、取得していない場合は緑色に点灯します。

情報が取得できた場合、5秒ごとにログとして情報を記録します。取得できない場合、未測位データは記録されません。

また、静止画撮影時、GPS情報が取得できる場合、JPEGファイルにGPS情報が書き込まれます。

す。

GPS ログファイルについて

本機に収納されているmicroSDカードのルートフォルダに、以下のフォルダが自動的に生成されます。

/GPSLOG

このフォルダの中に、GPS情報が取得できた日ごとに、ログファイルが次のファイル形式で作成されます。

G_yymmdd.log

ファイル名はGPS情報の取得日を表し、yyは西暦の下2桁、mmは月(01~12)、ddは日(01~31)を表します。

.logファイル内に、NMEAメッセージが設定されているフォーマットに従って記録されます。GPS情報が取得できない場合は記録されません。

NMEA メッセージについて

本機で取得したGPS情報はNMEA-0183に準拠したデータで記録されます。

NMEA-0183とは米国・National Marine Electronics Associationが定めた通信プロトコルに関する規格の1つです。

この規格を使用して、位置や時刻に関する情報をログデータ化します。

本機では次のフォーマットに対応しています。

- ① GGA
- ② GLL
- ③ GSA

- ④ GSV
- ⑤ RMC
- ⑥ VTG
- ⑦ ZDA

NMEA メッセージの組み合わせ

保存するNMEAメッセージは次の2種類の組み合わせから選択が可能です。

- ① **GGA + RMC**
- ② **GGA + GLL + GSA + GSV + RMC + VTG + ZDA**

工場出荷時、

「GGA+RMC」

が設定されています。

「GGA+GLL+GSA+GSV+RMC+VTG+

ZDA」

に対応したフォーマットに変更するには、「QBiC 設定ツール」を使用して設定を行う必要があります。

詳しくは

→「**QBiC 設定ツール**」

をご確認ください。

静止画の GPS 情報について

本機で撮影される静止画は、Exif ファイル形式 (バージョン 2.3)に対応しています。

静止画撮影時、GPS 情報が取得された場合、JPEGファイルのExifタグに位置情報(GPS info IFD)を書き込みますが、撮影時に GPS 情報が取得されない場合は、GPS info IFD への書き込みを行いません。

Exif ファイルを読み取れるツールやソフトを利用して、撮影された静止画の撮影時刻・経度などをご確認ください。

なお、以下のソフトで動作を確認しています。

Google Picasa (Google Inc.)

Flickr (Yahoo! Inc.)

GPS アシスト(時刻設定)を使う

本機は、GPS 情報を利用して現在時刻を設定することができます。これを GPS アシスト機能と呼び、工場出荷時はオンに設定されています。GPS アシスト機能がオンに設定されている場合、本機の電源がオンになり、最初に取得した GPS 情報を利用して本機内部の時計を合わせます。

オフに設定されている場合は GPS 情報による時刻合わせを行いません。

アシスト機能の設定は、QBiC Air および QBiC 設定ツールを使用して行います。

詳しくは

→「**リモートコントロール**」

→「**QBiC 設定ツール**」

をご確認ください。

GPS に関する注意点

1. GPSは衛星から電波を受信し位置を測定するシステムです。
次のような場所では衛星からの電波を遮断または反射してしまい、位置が正しく検出できない恐れがあります。

できる限り上空の開いた場所でご使用ください。

- 屋内、地下、森や林の中、高い建物や建造物の近く、トンネル内
 - 高圧電線の近く、磁石や金属、電気製品の近く
2. GPS衛星からの電波が受信しにくい環境では、GPSの捕捉に時間がかかることがあります。
 3. GPS衛星の位置は変化します。
撮影する場所や時刻、環境によっては正しく測位できなかったり、誤差が生じる場合があります。
 4. GPS機能はご使用になる国や地域の規則に従ってください。

エラーについて

本機側、もしくは QBiC Air で表示されるエラーや警告についてご説明します。

カメラエラー

本機が何らかの原因でエラー状態になった場合、エラー動作を行い、エラーであることを通知します。

エラー動作は 3 種類あり、エラー状態の度合いにより異なります。

エラー①	すべての LED を 1 秒間表示します。 ビビビッとピープ音が鳴ります。 その後状態は元に戻ります。
エラー②	すべての LED を 3 秒間表示します。 ビビビッとピープ音が鳴ります。 その後本機の電源が自動的にオフされます。
エラー③	誤った操作により実行することができない場合、実行を知らせるピープ音を出さないことにより動作が完了しなかったことを示します。

対応方法はエラー内容により異なります。
詳しくは本マニュアルの各項目をご確認ください。

本機をリセットする

本機の電源がオフされない、スイッチを押しても操作できない、など本機側で異常が発生した際は、ピンなど先のとがったものを使用して、本機背面にあるリセットスイッチを押してください。

リセットスイッチを押すと本機の電源はオフされ、電源オン直後と同じ状態になります。

録画中にリセットスイッチを押すと、ファイルは正常に保存されません。

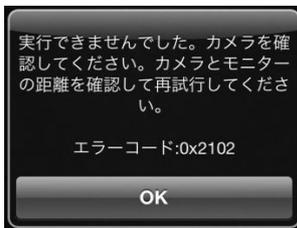
リセットスイッチを押しても症状が改善されない場合、弊社までご連絡ください。

QBiC Air エラー

本機と QBiC Air を接続してライブビュー配信を行っている場合、エラーが発生するとエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージおよび警告が表示されるタイミングや原因、対応方法は次のとおりです。

実行エラー



[原因]:

次のいずれかの状態になると実行エラーが表示されます:

リモートコントロール機能を使用して QBiC Air で撮影や各種の設定を実行した際に

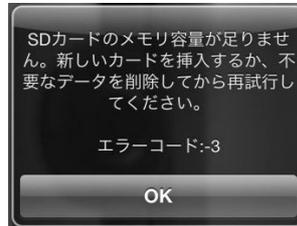
- 一時的に本機と QBiC Air の通信が途切れた
- 何らかの理由で操作が実行できなかった

このエラーが表示された場合、直前に行った操作は実行されていません。

[対応]:

本機とスマートフォンやタブレットの位置を変え、再度操作を行ってください。

SD 空き容量エラー



[原因]:

microSD カードの空き容量が足りません。

[対応]:

microSD カード内の不要なデータを削除するか、十分に空き容量のある別の microSD カードと交換してから再度実行してください。

電池残量不足エラー



[原因]:

本機のバッテリー残量が不足しています。

[対応]:

本機のバッテリーを充電してください。

SD 書き込みエラー



[原因]:

動画あるいは静止画の撮影時、何らかの理由で microSD カードに保存、あるいはカードフォーマットができなかった場合に表示されます。

[対応]:

microSD カードをフォーマットするか、別の microSD カードを本機に挿入し、再度撮影を実行してください。

WiFi カードがロックされていると microSD カードへの書き込みができません。

ロックされていないか確認してください。

Full HD 制限警告



[原因]:

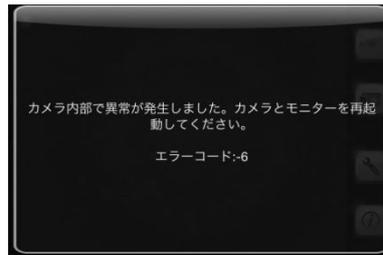
次のいずれかの状態になると Full HD 制限警告エラーが表示されます:

- 画質モードを Full HD に設定した場合
- 画質モードで Full HD が設定されており、ライブビューを行っている状態で動画撮影を実行した場合

[対応]:

Full HD 以外の画質モードを選択した状態で撮影を行ってください。

内部エラー



[原因]:

本機内部でなんらかの異常が発生した際に表示されます。

[対応]:

本機と QBiC Air を再起動してください。

再起動してもエラーが発生する場合、次の 4 つの操作をお試しください。

- ① 本機を工場出荷時状態に戻す
- ② スマートフォンやタブレットから QBiC Air をアンインストールし、再度インストールする
- ③ WiFi カードを交換する
- ④ microSD カードを交換する

これらの操作を行ってもエラーが表示される場合、弊社までご相談ください。

WiFi カードについて

WiFi カードは弊社のカスタマーサービスにて販売しております。
詳しくはカスタマーサービスまでお問い合わせください。
本機ご購入時に同梱されているもの、あるいは弊社よりご購入いただいた製品以外のカードはお使いいただけません。

microSD カードについて

microSD カードは消耗品です。定期的な交換をお勧めします。
市販されている microSD カードで弊社が動作確認したものについて、QBiC ウェブサイト(<http://www.elmoqbic.com/>)で情報を提供しております。
付属の microSD カード以外のものをお使いになる際は、上記ウェブサイトをご確認の上、動作確認済みカードを別途お求めください。
動作確認されていない製品のご使用に関しては動作の保証をいたしかねます。

[対応]:

再度通信設定を確認してください。
本機とスマートフォンやタブレットの位置を変え、再度接続してください。

入力不正エラー



[原因]:

パスワード設定画面において、入力した新しいパスワードと確認のパスワードが一致しない場合に表示されます。

[対応]:

新しいパスワードと確認のパスワードを確認して再度入力してください。

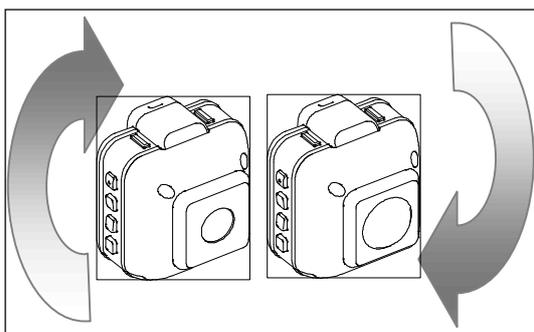
通信エラー



[原因]:

本機とQBiC Airの通信に問題があり、接続できない場合に表示されます。

本機、QBiC Air、QBiC 設定ツールのアップデートについて



本機、QBiC Air、および QBiC 設定ツールの機能追加・操作性・性能の向上等を目的とした、アップデートを不定期で実施することがあります。

本機のアップデートに関しましてはお客様ご自身で行っていただく方法のほかに、弊社カスタマーサービスでも有償にて承っております。

最新情報およびアップデート手順に関しましては QBiC ウェブサイトにて情報を公開しています。

詳しくは QBiC ウェブサイト (<http://www.elmoqbic.com/>)をご確認ください。

付録

本機のお手入れ方法について

普段のお手入れ

乾いた柔らかい布でふいてください。
シンナーやベンジン等の強溶剤を使用しないでください。故障の原因となります。

水中で使用した後のお手入れ

水中やほこりの多い場所で使用した後、また汚れがひどい場合は、端子部(USB およびカードスロット)およびバッテリー部のカバーの装着を確認し、きれいな水で洗い、柔らかい乾いた布で水滴をふき取り、風通しの良い日陰で完全に乾かしてください。

海中で使用したり、海水がかかった場合は、真水で洗ってください。

水滴や異物をそのままにしておくと、防水性能の低下や破損の原因になることがあります。

水洗いをして砂粒やほこりを取り除くまで、スロットやカバーの開閉はしないでください。
異物が混入するなど浸水の原因になることがあります。

石けんや中性洗剤、薬品で洗わないでください。防水性が低下します。

故障かな？と思ったら

<p>電源がオンしない</p>	<p><u>→バッテリーは充電されていますか？</u></p> <p>充電がされていない場合電源がオンになりません。 充電してから再度実行してください。</p> <p><u>→低温の場所で使用されていますか？</u></p> <p>低温の環境で使用される場合、一時的にバッテリーの性能が低下している可能性があります。 本機をポケットの中に入れるなどして少し温めてから再度電源をオンしてください。</p>
<p>録画／撮影できない</p>	<p><u>→バッテリーは充電されていますか？</u></p> <p>一定量の充電がされていないと記録できません。 充電してから再度実行してください。</p> <p><u>→WiFi カードがロックされていませんか？</u></p> <p>ロックされている場合記録できません。ロックを解除してから再度実行してください。</p> <p><u>→microSD に十分な空き容量はありますか？</u></p> <p>空き容量が不足すると記録できません。不要なデータを削除するか、新しい microSD カードに交換して再度実行してください。</p> <p><u>→WiFi カード、microSD カードは正常ですか？</u></p> <p>microSD カードは QBiC Air あるいは「QBiC 設定ツール」を使用してフォーマットし、それでも記録できない場合は別のカードを使用して再度実行してください。 WiFi カードを別のものと取り替えて再度実行してみてください。</p> <p>付属品以外の microSD カードの使用に関しては、QBiC ウェブサイトに掲載しております弊社推奨メーカー品をご参照ください。 推奨メーカー品以外の microSD カードを使用する際の動作の保証はいたしか</p>

	<p>ねます。 また、microSDHC Class6 以上のカードをお使いください。</p> <p>WiFi カードは QBiC 専用品です。 新しいカードをご希望の際は、弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。</p> <p><u>→本機と QBiC Air は通信していますか？</u></p> <p>QBiC Air を使用してリモート操作で録画／撮影を行っている場合、環境によっては一時的に通信が切断され、QBiC Air からの撮影操作命令が本機に届いていない可能性があります。 本機とスマートフォンやタブレットの位置を変えてから再度実行してみてください。</p>
<p>充電時間が長い</p>	<p><u>→オプション品の AC アダプタを使用して充電することにより充電時間を短縮することが可能です。</u></p> <p>AC アダプタは QBiC ウェブサイトよりご購入いただけます。 詳しくは QBiC ウェブサイトをご確認ください。 QBiC ウェブサイト: http://www.elmqbic.com/</p>
<p>録画ファイルに本機の操作音が入る</p>	<p><u>→本機の仕様であり、本機の故障ではありません。</u></p>
<p>ライブビュー配信時、QBiC Air で本機の音を出力しない</p>	<p><u>→スマートフォンやタブレットの設定で音声をオンにしてください。</u></p> <p>なお、ライブビュー配信時、録画を開始するとライブビュー配信は停止します。 画面表示は録画が始まった際の状態です。 その後、QBiC Air でライブビュー配信がリトライされ、成功すると映像のみ表示されます。 この際に音声は出力されません。</p> <p>録画中に一度 QBiC Air を落とした場合、再起動するとライブビューは映像のみ表示され、音声は出力されません。ご注意ください。 また、Full HD 選択時は録画を開始すると視聴制限に関するメッセージが表示されます。 その後 QBiC Air の再起動を行ってもライブビュー表示はされません。 録画が終了するとライブビューが再び配信されます。</p>
<p>本機と QBiC Air が通信しない</p>	<p><u>→本マニュアルをご確認の上、再度設定をご確認ください。</u></p>

<p>時刻設定ができない</p>	<p>→QBiC Air を起動して本機と通信を開始する際、スマートフォンやタブレットの時刻を本機に同期することにより、自動で時刻設定を行います。</p> <p>また、設定により本機に搭載されている GPS の時刻情報と同期することも可能です。</p> <p>QBiC Air をお使いにならない場合： 本機のみでお使いになる場合は、「QBiC 設定ツール」を使用して PC と時刻を同期するか、GPS アシスト設定をオンにして GPS の時刻と同期することにより時刻設定を行ってください。</p> <p>工場出荷時に時刻を調整しておりますが、お使いになる国によっては実際の時刻と異なる可能性があります。</p> <p>このような場合、上記の方法で時刻設定を行ってください。</p>
<p>記録した映像にケラレ(映像の端に不要な部分が写りこんでしまう)が発生する</p>	<p>→レンズの性能であり、故障ではありません。</p>
<p>GPS 信号が捕捉されない(電源 LED が緑色のまま)</p>	<p>→環境によっては GPS 信号を捕捉しにくい場所や場合があります。</p> <p>周囲に建物などが比較的少ない場所を選んで再度実行してください。 GPS の制限事項については本マニュアル「GPS」をご確認ください。</p>
<p>すべての LED が点滅する／QBiC Air でエラーが表示される</p>	<p>→本マニュアル内「エラー」をご確認ください。</p>

LED／ビープ音動作一覧

LED の消灯／点灯／点滅およびビープ音から把握できる動作状態を記します。

<電源 LED>					
	充電時		放電時		
	充電中	満充電	残量十分	残量 25%以下	残量 1%以下
電源オン	緑／青* 点滅	緑／青* 点灯	緑／青* 点灯	緑／青* 点滅	緑／青* 早点滅 (ビープ音 3 回)
電源オフ	赤 点滅	消灯	消灯	消灯	消灯
*GPS 捕捉時					
記録 LED					
動画記録中			赤 (開始時／停止時) (開始時ビープ音 1 回／停止時 2 回)		
静止画記録			赤 (ビープ音 1 回)		
SD 保存異常			動作停止後に赤点滅 (エラービープ音 3 回)		
バッテリー低下による異常			動作停止後に消灯 (エラービープ音 3 回)		
カード空き容量不足／ 枚数制限による停止			消灯 (エラービープ音 3 回)		
SD フォーマット中			赤点滅		
Full HD LED／HD LED／VGA LED					
選択時			緑点灯 (ビープ音 1 回)		
未選択時			消灯		
WiFi LED					
WiFi オン			青／緑点灯 (ビープ音 2 回)		
WiFi 検索中			青／緑点滅		
WiFi オフ			消灯 (ビープ音 2 回)		
アドホック通信			青 (ビープ音 3 回)		
インフラストラクチャー通信			緑 (ビープ音 3 回)		
全 LED					
温度異常			高速点滅 (エラービープ音 3 回) →電源オフ		
SD カードを挿入					
microSD カードアクセス途中で WiFi カード抜去					
WiFi カード未挿入状態で電源オン					
そのほかの状態エラー			高速点滅 (エラービープ音 3 回)		

スイッチ動作一覧

本機のスイッチで設定できる機能／設定は以下のとおりです。

電源スイッチ	
1 秒以上長押し	電源オン
2 秒以上長押し	電源オフ
5 秒以上長押し	マスタストレージモード ただし、電源オフの上 USB ケーブルで PC と接続した状態で操作すること
動画スイッチ	
短押し 1 回	録画開始／録画停止 (押しごとに切り替え)
静止画スイッチ	
短押し 1 回	静止画撮影
LED ライトスイッチ	
短押し 1 回	LED ライト オン／LED ライト オフ (押しごとに切り替え)
モードスイッチ	
短押し 1 回	画質モード Full HD／画質モード VGA／画質モード HD* (押しごとに切り替え)
2 秒～4 秒未満長押し	WiFi オフ／WiFi オン* (押しごとに切り替え)
4 秒以上長押し	インフラストラクチャー通信／アドホック通信* (押しごとに切り替え)
LED ライトスイッチ+静止画撮影スイッチ+電源スイッチ 同時	
5 秒以上長押し	工場出荷時設定 ただし、本機電源オフにて操作すること

*は初期値

主な仕様

本機および QBiC Air の主な仕様は以下のとおりです。

カメラ仕様	
水平画角	135°(X1)、185°(D1)
有効画素数	210 万画素
撮像素子	1/3 インチ CMOS センサー
開放 F 値	F2.2
GPS	搭載
WiFi 対応規格	IEEE802.11n
バッテリー	リチウムイオン二次電池 3.7V 1800mAh (取り外し可)
バッテリー稼働時間	2.5 時間 (動作条件: 録画、そのほか)
充電時間	3.5 時間 *USB 2A 充電器(別売り)使用時
WiFi モード	インフラストラクチャー / アドホック
USB	micro B (給電 / 充電 / マスストレージモード)
WB	フルオート
質量	180g
外形寸法	X1: 幅 62.6mm x 奥行 53.7mm x 高さ 64.6mm D1: 幅 62.6mm x 奥行 60 mm x 高さ 64.6mm (いずれも突起部含まず)
記録方式	
記録媒体	micro SDHC Class6 以上
ファイル形式	静止画: JPEG
	動画: MP4 (映像: H.264, 音声: L-PCM)
撮影記録仕様	
動画	Full HD (1920 x 1080) / 30fps
	HD (1280 x 720) / 30fps
	VGA (640 x 480) / 30fp
静止画	動画 / 静止画は同じ解像度
録画時間(32GB)	*4 時間 (Full HD / 30fps) *録画時間は目安です
インターバル撮影	待ち時間 (0 秒~72 時間)
	撮影周期 (1 秒~72 時間*) *QBiC 設定ツール使用時。QBiC Air 使用の場合は最大 24 時間
撮影能力	
最低撮影可能照度	2.5lux
環境性能	
動作温度	0~40°C
保存温度	-20~60°C
防水	IPX8 (USB カバー装着時)

QBiC Air 仕様	
対応端末/ OS バージョン	iOS 機器 (iPhone、iPad、iPod touch) :バージョン 5.1 Android OS 搭載機器 :バージョン 4.0
アプリ対応言語	12 カ国* (日本語/英語/フランス語/ドイツ語/スペイン語/オランダ語/ イタリア語/ロシア語/ ポーランド語/トルコ語/中国(簡体字)/ 台湾(繁体字)) *スマートフォンやタブレットにより異なります

本機/QBiC Air 機能一覧

本機および QBiC Air で操作可能な設定は以下のとおりです。

	本機	QBiC Air
動画撮影	○	○
静止画撮影	○	○
インターバル撮影/設定	×	○
カメラ詳細情報	×	○
LED ライト オン/オフ	○	○
画質モード(Full HD/HD/VGA)設定	○	○
WiFi オン/オフ	○	×
インフラストラクチャー通信設定	モード切り替えのみ	○
アドホック通信設定	モード切り替えのみ	○
パスワード設定	×	○
カメラ名設定	×	○
GPS 設定	×	○
microSD カードフォーマット	×	○
オートパワーオフ設定	×	○
ライブビューフレームレート設定	×	○
カメラ切り替え	×	○
工場出荷時設定	○	×

アフターサービスについて

【保証および修理】

無償保証期間

無償保証期間は、お客様の商品ご購入日より1年間とさせていただきます。

商品に同梱されている保証書は大切に保管してください。

無償保証期間終了後は有償での修理となります。

無償保証範囲

無償保証につきましては、その期間中、QBiCユーザーズ・マニュアルやカタログなどに記載された使用環境・使用方法や注意事項に従ってご使用いただいた場合に限りさせていただきます。

無償保証期間中の有償修理

無償保証対応期間内に関らず、次のような場合には有償修理とさせていただきます。

- (1) 使用上の誤り(QBiCユーザーズ・マニュアル以外の誤操作等)により生じた故障および損傷
- (2) 弊社の指定する修理取扱店以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障および損傷
- (3) 泥・砂・水などのかぶり、落下、衝撃などが原因で発生した故障および損傷
- (4) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、公害、落雷、異常電圧およびそのほかの天災地変等による故障および損傷
- (5) お買い上げ後の輸送、移動、落下および保管上の不備等による故障および損傷
- (6) 保証書を紛失した場合
- (7) 販売店名、ご購入年月日等の記載事項を訂正された場合

修理条件

- (1) 修理は、弊社製品のみを対象といたします。
- (2) 修理は、原則弊社にて製品をお預かりした上での修理とさせていただきます。
ご送付される場合の送料、もしくは修理品のご持参、修理品お持ち帰りの際の交通費はお客様のご負担にてお願いいたします。
- (3) 修理を希望される場合は、まず弊社お問い合わせ相談窓口までご連絡ください。
連絡先につきましては次のページの「お問い合わせ相談窓口」をご覧ください。

[そのほかのアフターサービス]

お問い合わせ相談窓口

QBiCに関する次のお問い合わせを承ります。

- (1) 修理に関するお問い合わせ
- (2) 使用方法、販売、その他に関するお問い合わせ

弊社への連絡先に関しましては製品に同梱されている証書をご覧ください。次のURLからご確認ください。

QBiC ウェブサイト: <http://www.elmoqbic.com/>

The logo for ELMO, featuring the letters 'E', 'L', 'M', and 'O' in a bold, blue, stylized font. The 'E' and 'O' have horizontal bars extending from their left and right sides respectively, giving it a unique, mechanical appearance.

株式会社 エルモ社

本社 〒467-8567 名古屋市瑞穂区明前町6番14号

<http://www.elmo.co.jp>

製品に関するお問い合わせ:

開発営業部

TEL: 052-821-3141

FAX: 052-821-4400

E-mail: online-info@elmo.co.jp

修理に関するお問い合わせ:

カスタマーサービス

TEL: 052-811-5135

FAX: 052-811-3720

E-mail: service.co@elmo.co.jp